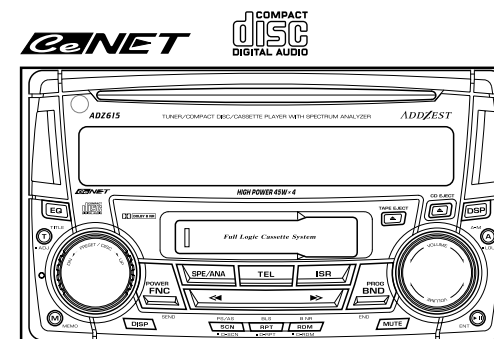


ADDZEST

CD/MD/AV/TEL-LINK コントロール、
AM/FM チューナー付CD/ カセットデッキアンブ

ADZ615

取扱説明書



このたびは、アゼスト商品をお買い求めいただき
まして、まことにありがとうございました。

安全に正しくご利用いただくため、ご使用前にこの
「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いく
ださい。

保証書(別添)はお買い求めの販売店で記入いたしま
すので、内容をよくご確認のうえ、この取扱説明書と
ともに大切に保管してください。

この取扱説明書には、本機で操作するCDチェン
ジャーおよびMDチェンジャーの操作説明も含まれ
ています。CDチェンジャーやMDチェンジャーの取
扱説明書には、操作説明は記載されておりません。

目次

はじめに

ご使用の前に知っておいていただきたいご注意を説明しています。

主な特長	5
ご使用の前に	6
安全に正しくお使いいただくために	6
安全上のご注意	7
本体のお手入れについて	10
カセットテープについて	10
CDの演奏について	11
CDについて	11

本機の操作

本機にスピーカーを接続するだけでお楽しみいただける機能を説明しています。

各部の名称とはたらき

本体部	12
システムチェック時のディスプレイ表示	14
電源ON/OFF時のディスプレイ表示	15
各種設定/調整時のディスプレイ表示	16
モード別ディスプレイ表示	18
別販リモコン(RCB-130)の使いかた	22

基本の操作

電源を入れる	24
モードを選ぶ	24
音量を調節する	25
ラウドネス効果をON/OFFする	25
音を消す(ミュート)	25
表示を切り換える	25
時刻を合わせる	26
音質を調整する(バス/トレブル)	27
バランス/フェダーを調整する	27
スペアナパターンを切り換える	28
スペアナパターンについて	29
タイトル表示を切り換える	30
タイトルをスクロールさせる	30

ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ	31
受信バンドを切り換える	31
自動選局する(シーク選局)	31
手動選局する(マニュアル選局)	31
プリセット選局する	31
プリセットメモリーする	32
自動メモリーする(オートストア機能)	32
放送を確かめる(プリセットスキャン)	33
特定の放送局をすぐに選局する(ISR機能)	33

CDを聴く

CDを入れる	34
CDを取り出す	34
すでに入っているCDを聴く	35
曲を選ぶ	35
演奏を止める(一時停止)	35
早送り/早戻しする	35
最初の曲から聴く(トップ機能)	35
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	35
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	36
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	36

カセットテープを聴く

カセットテープを入れる	37
カセットテープを取り出す	37
すでに入っているカセットテープを聴く	37
演奏を止める(一時停止)	37
カセットテープの演奏面を切り換える	37
早送り/早戻しする	38
曲の頭出しをする(APC機能: Auto Program Control)	38
ドルビーノイズリダクションで録音された カセットテープを聴く(ドルビーNR)	39
曲間をとばして聴く(ブランクスキップ)	39
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	39
繰り返し聴く(リピート演奏)	39

DSP/EQを調整する

DSPメニューを選ぶ	40
DSP効果をON/OFFする	40
エフェクト(EFFECT)を調整する	41
EQメニューを選ぶ	41
EQ効果をON/OFFする	41

タイトルをつける

タイトルを入力する	42
イージーインプットをする	43
タイトルを削除する	44

設定を変更する(アジャストモード)

設定項目を選ぶ	45
スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)	46
スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPD)	46
メッセージを表示させる(MESSAGE)	47
ボタン操作時のピープ音を設定する(BEEP)	47
タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)	48
TVダイバーシティを設定する(TV DIVER)	48
チューナーエリアを設定する(AREA SELECT)	49
TVエリアを設定する(TV AREA)	50
電話の割り込みを設定する(TEL-SP)	51

外部機器の操作、その他については次ページをご覧ください。

目次

外部機器の操作

本機とスピーカーの他に、別販品のCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続したときにお楽しみいただける機能を説明しています。

CD/MDチェンジャーの操作

チェンジャーモードを選ぶ	52
聴きたいCD(またはMD)を選ぶ	53
曲を選ぶ	53
早送り/早戻しをする	53
演奏を止める(一時停止)	53
最初の曲から聴く(トップ機能)	53
聴きたい曲を探す(スキャン演奏)	53
聴きたいCD(またはMD)を探す(ディスクスキャン演奏)	54
1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)	54
1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く(ディスクリピート演奏)	55
ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)	55
全CD(またはMD)の演奏をランダムに聴く(ディスクランダム演奏)	55

テレビを見る

TVモードを選ぶ	56
受信バンドを切り換える	56
自動選局する(シーク選局)	56
手動選局する(マニュアル選局)	57
プリセット選局する	57
プリセットメモリーする	57
自動メモリーする(オートストア機能)	58
放送を確かめる(プリセットスキャン)	58
ステレオ/モノラル音声を切り換える	59
メイン/サブ音声を切り換える	59
ビデオを見る	59

携帯電話機を操作する

電話をかける(スーパースピードダイヤル)	60
着信電話を保留する	61
通話音量を調整する	61

その他

システムアップについて	62
CeNETケーブルについて	63
故障と思われる前に	64
エラー表示について	65
仕様	66
アフターサービスについて	67

主な特長

本機は、AM/FMラジオとカセットデッキ、CDデッキを内蔵し、別販のCDチェンジャーやMDチェンジャーを接続してコントロールできるCeNET結線対応の2DINセンターユニットです。

表示部

- 車内をカラフルに演出する8パターンのスペクトラムアナライザー

ラジオ部

- プリセットが簡単なオートストア機能で、FM12局、AM12局をメモリー(エリアセレクト有)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

CDプレーヤー部

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能

カセットプレーヤー部

- テープ挿入時に、ゴミやホコリからテープメカニズムを守るオートシャットドア機能
- ノイズを低減するドルビーBノイズリダクションシステム機能
- 12秒以上の無録音部分を早送りして演奏するブランクスキップ機能
- 演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するFFスキャン機能
- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中の曲、または次の曲の頭出しを行うAPC機能
- 早送り/巻戻し中にラジオモードやCDモードに切り換えても、これらの動作が終了してから止まるモニター機能

DSP/EQ(イコライザー)部

- 5種類のベーシックパターンから選べる豊かなサウンドフィールド
- 4種類のベーシックパターンから選べるグラフィックイコライザー

CeNET(Clarion Entertainment Network) 結線対応

- 外部機器との結線に、CeNET方式を採用。これにより、複数の外部機器を接続する場合も中継ボックスは必要ありません。
- CDチェンジャーおよびMDチェンジャーを合計2台まで接続および操作できるチェンジャーコントロール機能。

CDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全演奏曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているCDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

MDチェンジャーコントロール部(別販品接続時)

- 演奏中の曲を繰り返し演奏するリピート機能
- 演奏中のディスクを繰り返し演奏するディスクリピート機能
- 全曲の最初の10秒間ずつを演奏するスキャン機能
- 全ディスクの1曲目の最初の10秒間ずつを演奏するディスクスキャン機能
- 1枚のディスクの曲を順不同に演奏するランダム機能
- 収納しているMDの曲を順不同に演奏するディスクランダム機能

タイトル入力機能

- ラジオの放送局やCDにタイトルをつけ、受信時やCD演奏時に表示させることができます。

TVチューナーコントロール部(別販品を接続時)

- プリセットが簡単なオートストア機能で、TV1:6局、TV2:6局、合計12局をメモリー(エリアセレクト機能付)
- メモリーした放送局を7秒間ずつ受信するプリセットスキャン機能

TEL-LINKユニットコントロール(別販品接続時)

- 携帯電話のハンズフリー通話を実現します。電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。また、通話音声を話すスピーカーを左側または右側に切り換えることができます。(電話の割り込み機能)

ご使用の前に

安全に正しくお使いいただくために

絵表示について

この取扱説明書の表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中などには具体的な注意内容（左図の場合は指はさまれ注意）が描かれています。



⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中などには具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



❗ 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

安全のため、ご使用の前に「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになったあとはいつでも見られる所(グローブボックスなど)に必ず保管してください。

安全上のご注意

使用上のご注意

⚠ 警告

走行中は運転者による操作をしない...

運転者が操作する場合は、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。



走行中はビラーアンテナやルーフアンテナの引き伸ばし操作をしない...

運転操作に支障をきたし、事故の原因となります。



本機を分解したり、改造しない...

事故や火災、感電の原因となります。



ディスプレイ部が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しない...

事故や火災、感電の原因となります。そのような場合は、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談してください。



万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な臭いがするなどの異常が起きたときは、ただちに使用を中止し、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談する...

そのまま使用すると事故や火災、感電の原因となります。



■ ご使用の前に

⚠ 警告

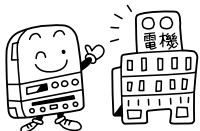
ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用する…

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。



本機の取り付けおよび取り付けの変更は、安全のため、必ずお買い求めの販売店または最寄りの弊社修理相談窓口に依頼する…

専門技術と経験が必要です。



⚠ 注意

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する…

車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となる事があります。



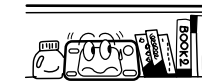
ディスク挿入口に手や指を入れない…
ケガの原因となることがあります。



ディスク挿入口に異物を入れない…
火災や感電の原因となることがあります。



本機を車載用以外には使用しない…
感電やケガの原因となることがあります。



アンテナは、折れ曲がった状態で使用しない…
歩行者などに接触してケガの原因となることがあります。



樹脂加工部に対してベンジンやシンナーなどの溶剤を使用して清掃しない…
部品変形により故障して、火災などの原因となることがあります。



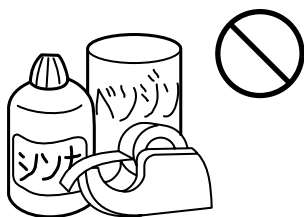
電源を切るときは、音量を最小にする…
電源ON時に突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



■ ご使用の前に

本体のお手入れについて

本機をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布につけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。



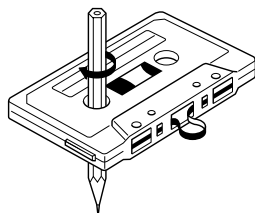
⚠ 注意

樹脂加工部に、ベンジンやシンナーなどの溶剤を使用しないでください。部品変形により故障し、火災などの原因となることがあります。

自動車用クリーナーなどは使用しないでください。変質したり、塗料がはげる原因となります。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させておくと、シミのつくことがあります。

カセットテープについて

カセットテープを挿入するときにはテープがゆるんでいると、誤動作を起こす場合があります。テープのゆるみをなおしてから挿入してください。テープヘッドやカセットテープに、磁石やドライバなど、鉄類や磁石類は近づけないでください。C-120タイプのカセットテープは、テープが非常に薄く、伸びたり切れたりしますので、使用しないでください。ラベルのはがれたカセットテープやケースが変形しているカセットテープは、使用しないでください。故障の原因となります。直射日光の当たるところには放置しないでください。長時間使用しないときは、カセットテープを本機から抜き取り、ケースに入れてください。



CDの演奏について

車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機を使用すると、CDや光学部品が曇って正常な動作を行わないことがあります。CDが曇っているときは、やわらかい布でふいてください。また光学部品が曇っているときは、1時間ほど放置しておくと、自然に曇りがとれ、正常な動作に戻ります。本機は精密な機構を使用しているため、万一異常が発生したときでも、絶対にケースを開けて分解したり、回転部分に注油したりすることはやめてください。CDを演奏中、振動の激しい悪路を走行すると、音飛びを起こすことがあります。8cmシングルCDをイジェクトした状態で走行しないでください。走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。本機のディスプレイ部(アクリル部品)の一部分に、細いスジが見える場合があります。これは製造過程でやむを得ず生じるもので、「傷」や「ひび割れ」などではありません。また、本機の性能および安全性を損なうものではありません。

⚠ 警告

本機を分解したり改造したりしないでください。事故や火災、感電の原因となります。

CDについて

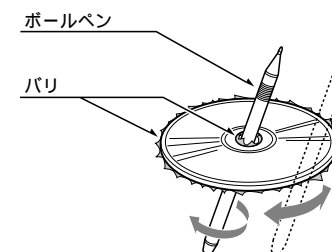


マークのついたCDをご使用ください。

また、ハート型や八角形など、特殊形状のCDは使用しないでください。

取扱い上のご注意

レーベル面(印刷面)に文字などを記入しないでください。セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがした痕があるCDは使用しないでください。そのままCDプレイヤーに入れると、CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。ディスク面に、傷や指紋をつけないように扱ってください。新しいCDには、ディスクの周囲に「バリ」が残っていることがあります。このようなCDをご使用になると、動作しなかったり音飛びの原因となります。CDにバリがあるときは、ボールペンなどでバリを取り除いてからお使いください。



保管時のご注意

次のような場所には保管しないでください。

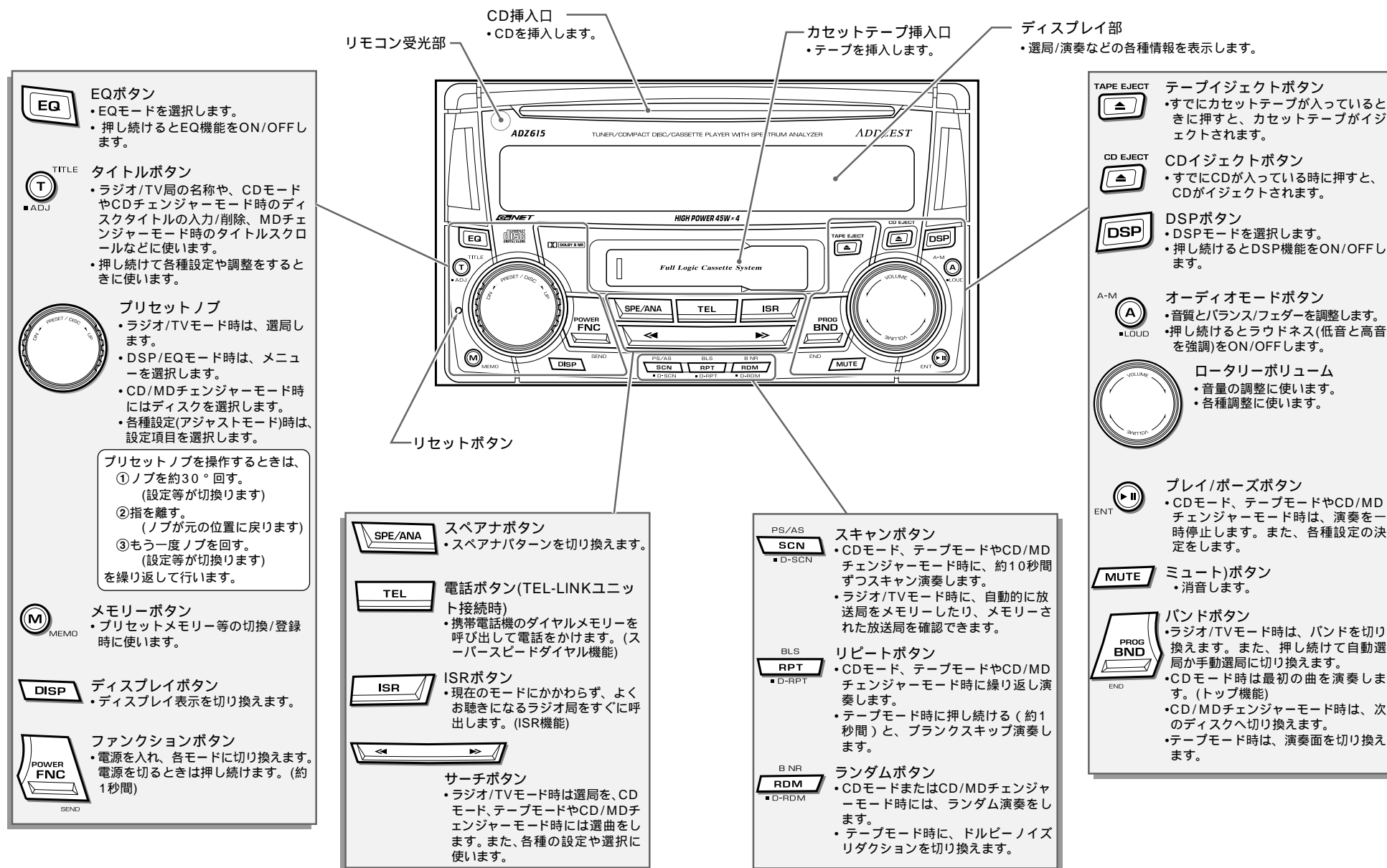
直射日光の当たる場所
湿気やホコリの多い場所
暖房の熱が直接当たる場所

お手入れ

汚れたときには、やわらかい布で、内側から外側へ向かって、よくふいてください。従来のレコードクリーナー液やアルコールなどでふかないでください。

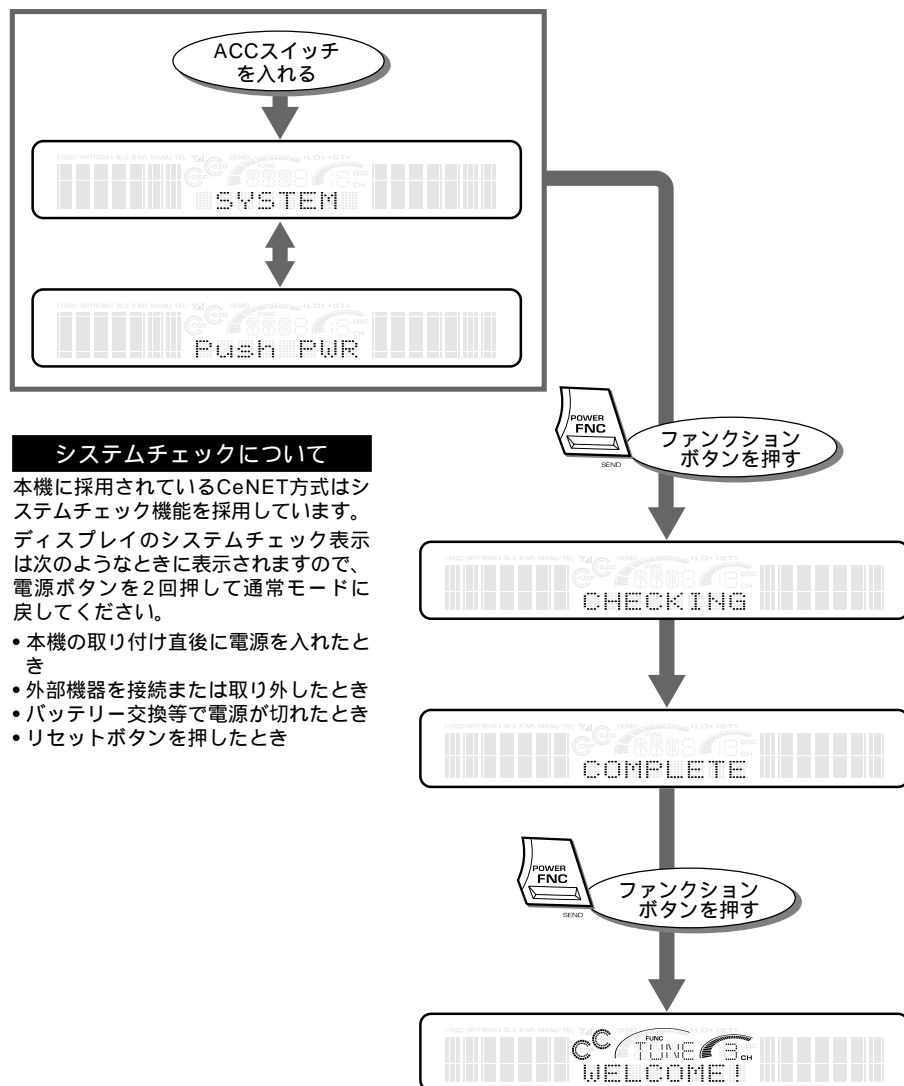
各部の名称とはたらき

本体部



■ 各部の名称とはたらき

システムチェック時のディスプレイ表示

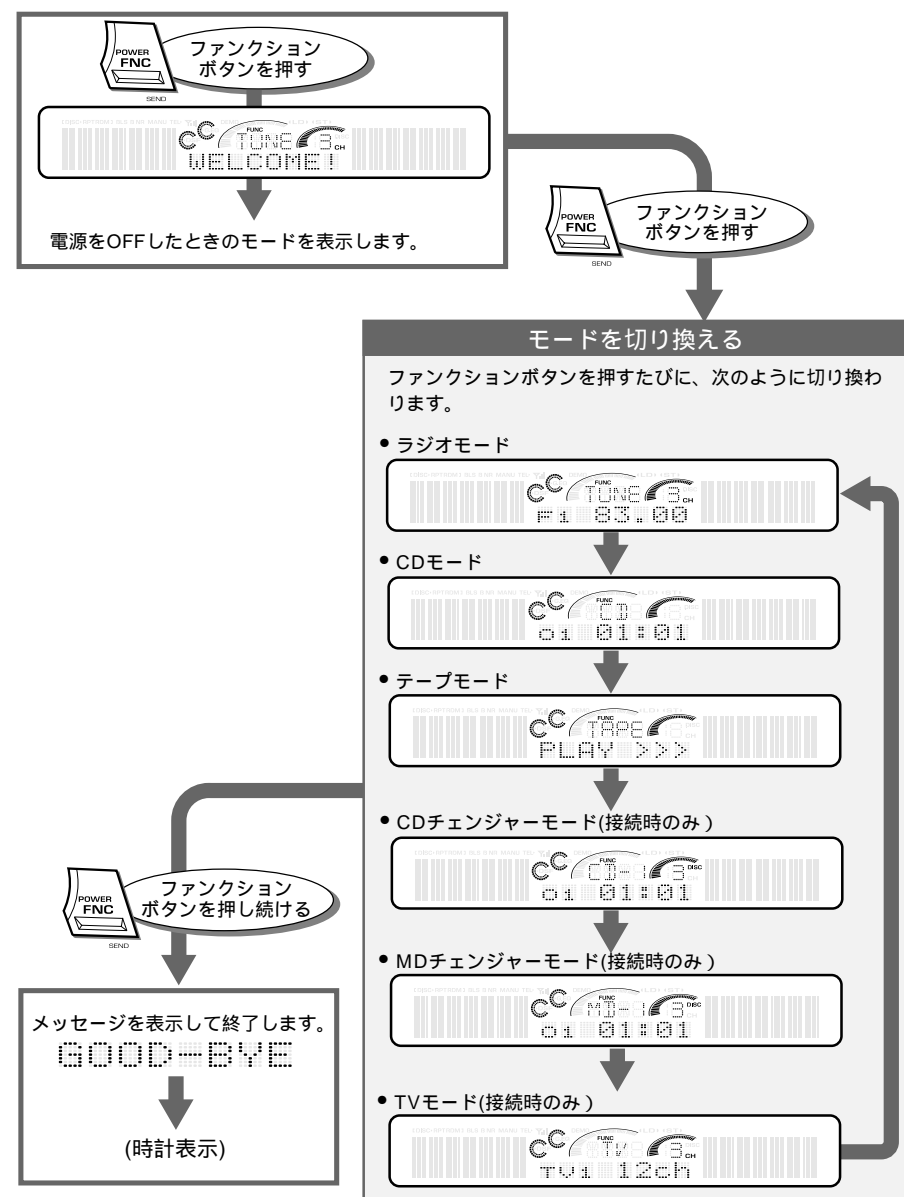


システムチェックについて

本機に採用されているCeNET方式はシステムチェック機能を採用しています。ディスプレイのシステムチェック表示は次のようなときに表示されますので、電源ボタンを2回押して通常モードに戻してください。

- 本機の取り付け直後に電源を入れたとき
- 外部機器を接続または取り外したとき
- バッテリー交換等で電源が切れたとき
- リセットボタンを押したとき

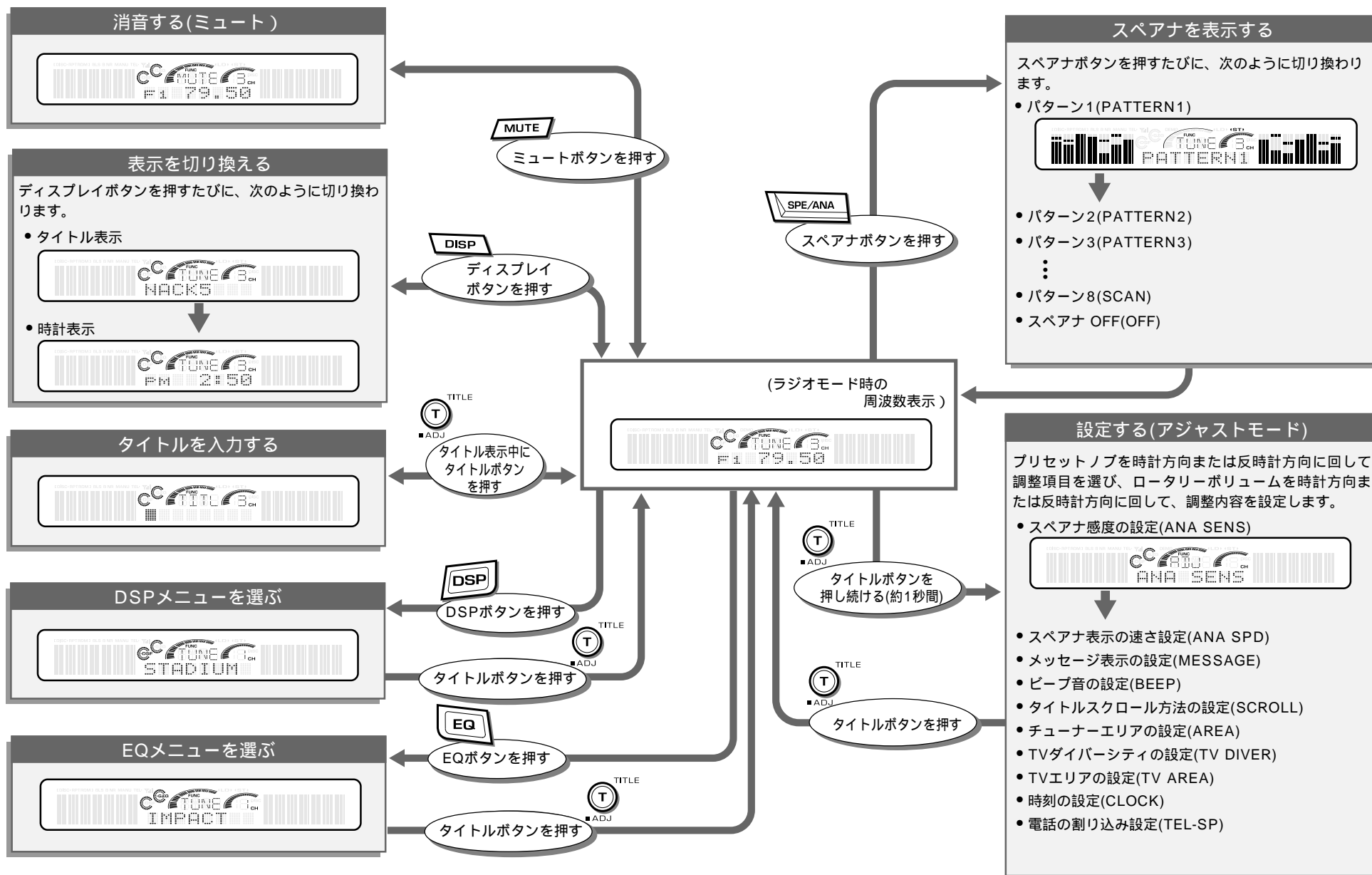
電源ON/OFF時のディスプレイ表示



本機
の
操
作

■ 各部の名称とはたらき

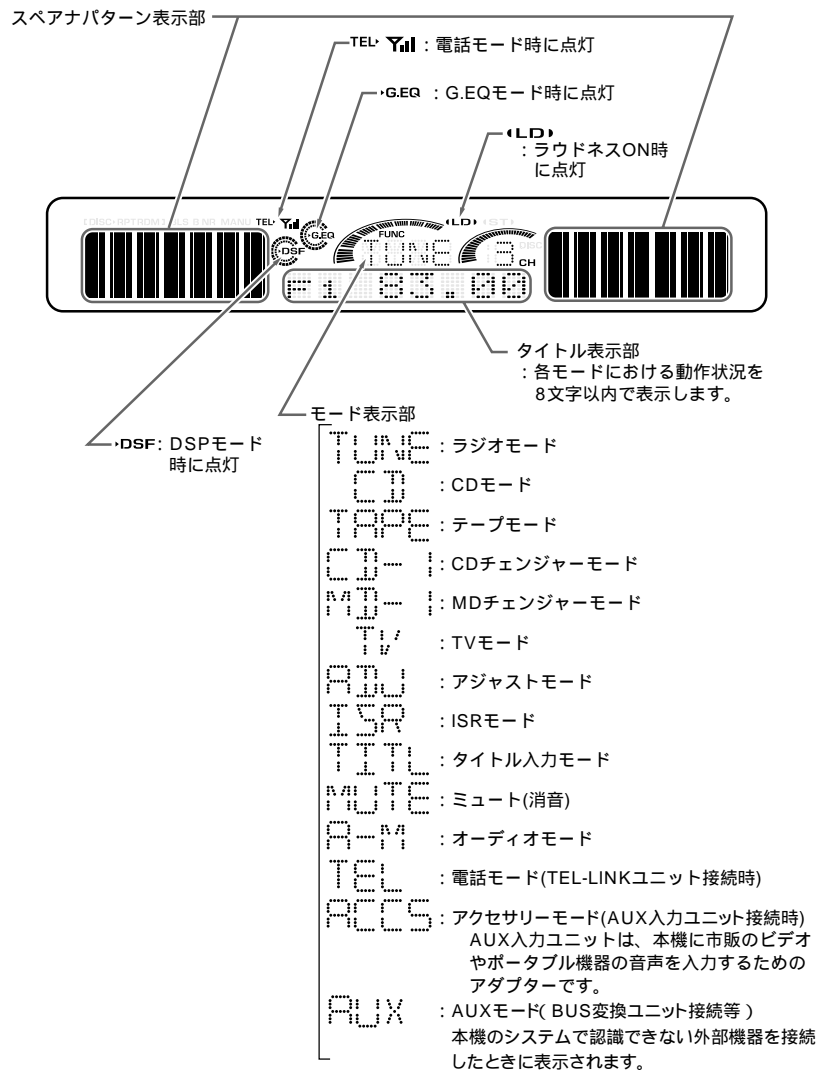
各種設定/調整時のディスプレイ表示



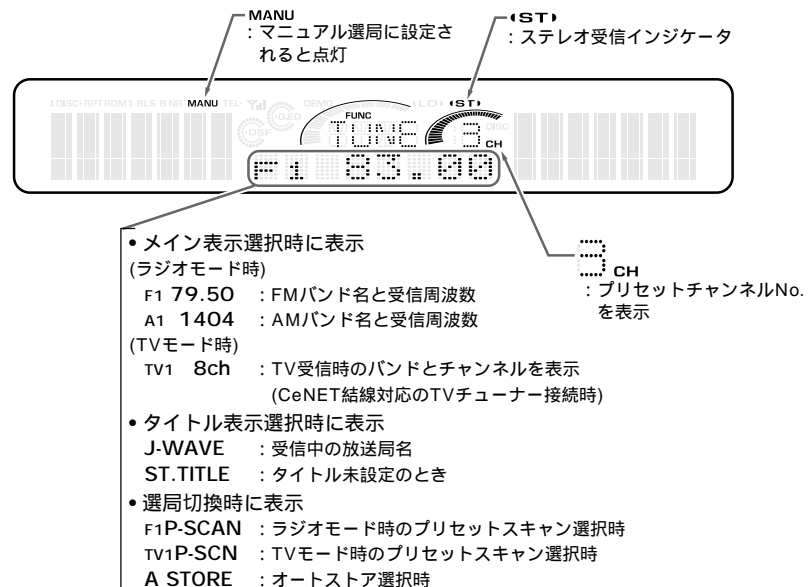
■ 各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

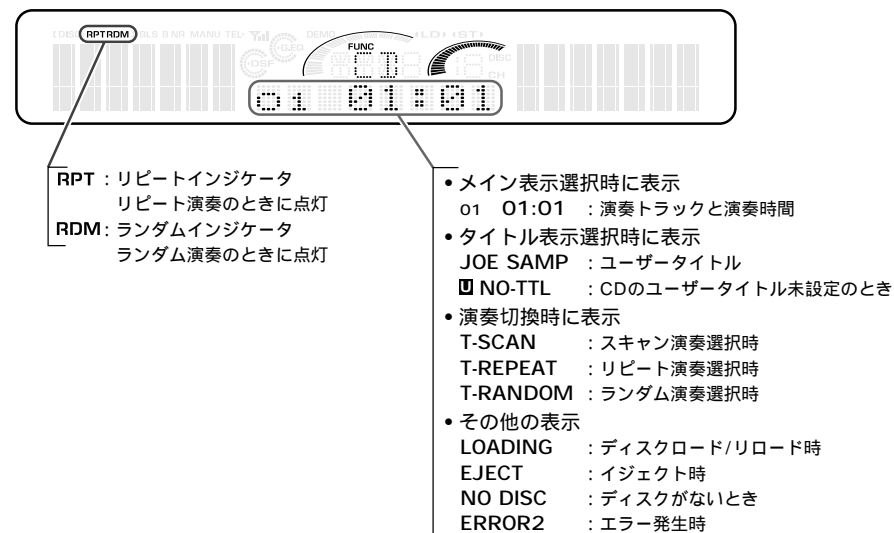
各モード共通の表示



ラジオ/TVモード時の表示



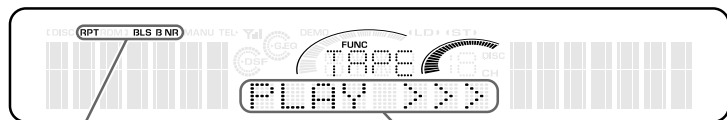
CDモード時の表示



■ 各部の名称とはたらき

モード別ディスプレイ表示

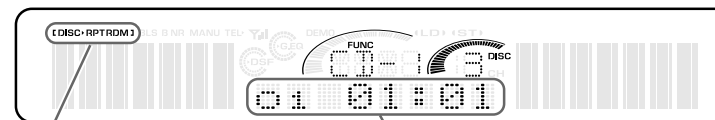
テープモード時の表示



RPT : リピート演奏のときに点灯
BLS : ブランクスキップのときに点灯
B NR : ドルビーNR「ON」のときに点灯

- メイン表示選択時に表示
 - PLAY >>> : プレイ中
 - FF >>> : 早送り中
 - A-FF >>> : F-APC中
 - REW <<< : 巻戻し中
 - A-REW<<< : R-APC中
 - SCAN >>> : スキャン送信中
 - BLS : ブランクスキップ送信中
- タイトル表示選択時に表示
 - PLAY : 演奏中
 - FF : 早送り中
 - APC-FF : F-APC中
 - REW : 巻戻し中
 - APC-REW : R-APC中
 - SCAN : スキャン送信中
 - BLS : ブランクスキップ送信中
- 選曲切換時に表示
 - SCAN : スキャン演奏選択時
 - REPEAT : リピート演奏選択時
 - BLS : ブランクスキップ時
 - DOLBY B : ドルビーNR選択時
 - SIDE-1 : 走行方向切換時
- その他の表示
 - LOADING : テープローディング/リロード中
 - EJECT : イジェクト中
 - NO CASS : イジェクト完了/リロード位置
 - ERROR2 : エラー

CD/MDチェンジャーモード時(接続時)の表示



DISC : ディスクリピート、ディスクランダムのために点灯
RPT : リピートインジケータ
RDM : ランダムインジケータ
 ランダム演奏のために点灯

- メイン表示選択時に表示
 - 01 00:00 : 演奏トラックと演奏時間を表示
- タイトル表示選択時に表示
 - JOE SAMP : ディスク/トラックタイトル
 - T** NO-TTL : CDのタイトル未設定のとき
 - T** NO-TTL : MDのトラックタイトル未設定のとき
 - D** NO-TTL : MDのディスクタイトル未設定のとき
- CDテキスト対応チェンジャーで通常のCDを再生し、タイトル表示を切り換えたときの表示
 - T** NO-TEXT : トラックタイトル選択時
 - D** NO-TEXT : ディスクタイトル選択時
 - A** NO-TEXT : アーティストタイトル選択時
- 演奏切換時に表示
 - DISC-3 : ディスク選択時
 - T-SCAN : スキャン演奏選択時
 - T-REPEAT : リピート演奏選択時
 - T-RANDOM : ランダム演奏選択時
 - D-SCAN : ディスクスキャン演奏時
 - D-REPEAT : ディスクリピート演奏時
 - D-RANDOM : ディスクランダム演奏時

各部の名称とはたらき

別販リモコン(RCB-130)の使いかた

モードを選ぶ ファンクションボタン

電源が入ります。また、押すたびにモードが切り換わります。

ラジオ → CD → テープ → (CDチェンジャー) → (ACCS) → (TV) → (MDチェンジャー) →

押し続ける(1秒間)と、電源が切れます。

音量を調節する ▲▼(ボリューム)ボタン

音を消す ミュートボタン

ミュート(消音)機能をON/OFFします。

ISRメモリーを呼出す ISRボタン

ISRにすぐ聴きたい放送局をメモリーするには、ISRボタンを押し続けます(約2秒間)。元のモードに戻すには、もう1度ISRボタンを押します。

曲を探す/放送局をプリセットする スキャンボタン

スキャン演奏します。(CDモード、テープモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクの1曲目をディスクスキャン演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
テープモード時に押し続けるとブランクスキップ機能をON/OFFします。
プリセットした放送局を確かめられます。(プリセットスキャン、ラジオモード時)
また、押し続ける(約2秒間)と放送局を自動的にメモリーします。(オートストア、ラジオモード時)
解除するときは、もう1度スキャンボタンを押します。

繰り返し演奏する リピートボタン

繰り返し演奏します。(CDモード、テープモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、ディスクの繰り返し演奏をします。(CD/MDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度リピートボタンを押します。

ランダム演奏する/ドルビーNRを切り換える ランダムボタン

ランダム演奏します。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
押し続ける(約1秒間)と、チェンジャー内の全ディスクをランダムに演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)
解除するときは、もう1度ランダムボタンを押します。
ドルビーNRリダクションを切り換えます。(テープモード時)

演奏する ▶/|| (プレイ・ポーズ)ボタン

演奏と一時停止をします。(CDモード、テープモード、CD/MDチェンジャーモード時)

選曲する/選局する ◀▶サーチボタン

押した回数だけ先の曲、または前の曲を演奏します。押し続ける(約1秒間)と、早送り/早戻しをします。(CDモード、CD/MDチェンジャーモード時)
プリセットチャンネルをアップ/ダウンします。(ラジオ/TVモード時)
テープモード時に押すと、早送り/巻戻しをします。また、2回押すと頭出しをします。(APC機能)

最初の曲から演奏する/バンドを切り換える バンドボタン

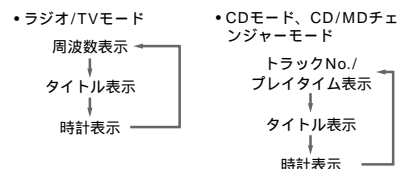
最初の曲から演奏します。(CDモード時)
受信バンドを切り換えます。(ラジオ/TVモード時)
演奏面を切り換えます。(テープモード時)

次のCD(またはMD)を演奏する バンドボタン

次のCD(またはMD)を演奏します。(CD/MDチェンジャーモード時)

表示を切り換える ディスプレイボタン

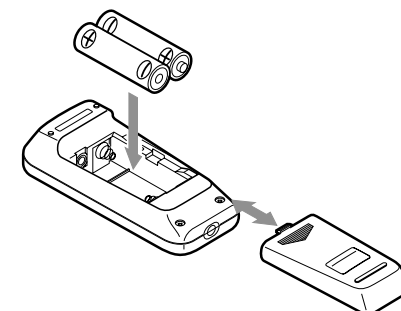
次のように表示を切り換えます。



タイトル表示中に押し続ける(約1秒間)と、タイトル表示を切り換えます。

電池の入れかた

- ① リモコンを裏返して、矢印の方向に裏ぶたをスライドさせます。
- ② 付属の電池(1.5Vの単3形乾電池2個)を図のような向きに入れて、裏ぶたを閉めます。

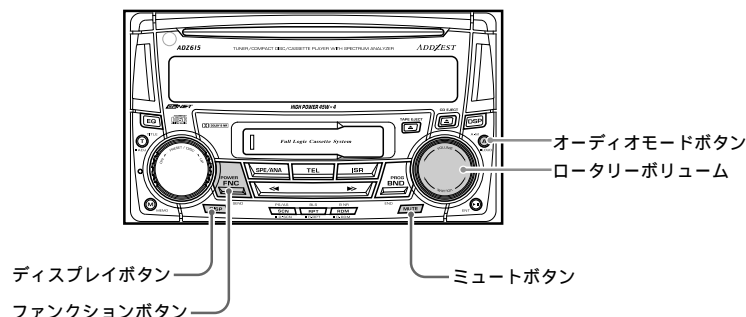


⚠ 注意

使用を誤ると、電池の破裂や液漏れにより、ケガや火災、周囲を汚染する原因となりますので、以下の注意事項をお守りください。

- ・ 指定電池以外は使用しない。
- ・ 電池を交換するときは、極性の向きを間違えないように正しく入れる。
- ・ 電池を加熱したり、火や水の中に入れない。また、分解しない。
- ・ 使用済みの電池は、定められた場所に廃棄する。

基本の操作



電源を入れる

システムチェックについて...

本機は、結線を終えてから最初に電源を入れたときのみ接続機器の確認を行います。電源を入れたとディスプレイに「SYSTEM」と「Push PWR」が交互に表示されますので、ファンクションボタンを押してください。本機の内部で、システムチェックが始まります。システムチェックが終わると、電源OFFの状態になりますので、もう一度ファンクションボタンを押して下さい。

ファンクションボタンを押す



前回の操作終了時のモードが表示されます。

- 時刻の設定は、26ページをご覧ください。

ご注意

- バッテリーあがり防止のため、本機の場合は、エンジンをかけた状態で行ってください。

電源を切るときは...

ファンクションボタンを押し続け(約1秒間)てください。

モードを選ぶ

ファンクションボタンを押す



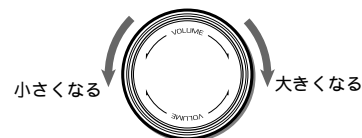
押すたびに、次のように切り換わります。

ラジオ→CD→テープ→(CDチェンジャー)
(ACCS)←(TV)←(MDチェンジャー)

- 接続していない機器のモードは表示されません。
- CDモードやMDチェンジャーモード時に、ディスクが入っていないときは「NO DISC」を、CDチェンジャーモード時にチェンジャーにマガジンが入っていないときには、「NO MAGA」を表示します。
- ACCS(アクセサリ)モードは、AUX入力ユニット(EA-1155A)を接続して、市販のビデオやポータブル機器の音声を再生します。この場合、AUX入力ユニットに付属のリードスイッチを使用しないで、モード切換ができます。

音量を調節する

ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回す



時計方向に回すと音量が大きくなり、反時計方向に回すと小さくなります。



注意

- 運転中は車外の音が聞こえる程度の音量にしてください。

ラウドネス効果をON/OFFする

小音量でお聴きになるときは...

小音量でお聴きになるときは、低音と高音を強調するラウドネスの自然な音質をおすすめします。

オーディオモードボタンを押し続ける(約1秒間)



ONになると、「LD」が点灯してラウドネスの効いた音になります。

OFFにするには...

もう一度押し続け(約1秒間)てください。

音を消す(ミュート)

ミュートボタンを押す



モード表示部に「MUTE」と表示します。

もとの音量に戻すには...

もう一度ミュートボタンを押してください。

表示を切り換える

ディスプレイボタンを押して、表示を選ぶ

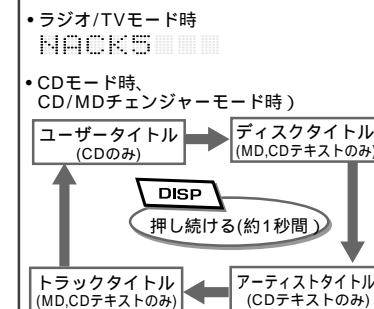


押すたびに、次のように切り換わります。

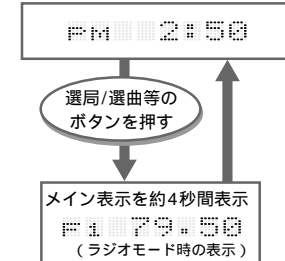
メイン表示

- ラジオ/TVモード時
FM 107.5
- CDモード、CD/MDチェンジャーモード時
01 01 01

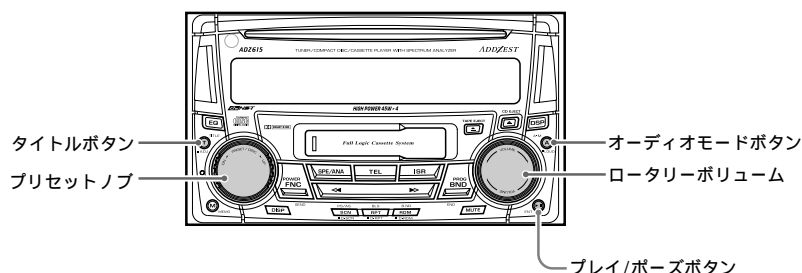
タイトル表示



時計表示



■ 基本の操作



時刻を合わせる

時計表示について...

本機は、車のエンジン作動時 (ACC ON時) に時計を表示します。
時計は12時間表示です。

- 1 タイトルボタンを押し続ける (約1秒間)



「ANA SENS」が表示されます。

- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「CLOCK」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押して、時計を表示させる



「AM 12:00」を表示し、時刻設定モードになります。

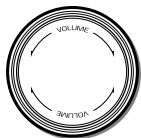
- ・時刻を合わせる途中で他のボタンを操作すると、時刻は調整されません。

- 4 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、時または分を選ぶ



- ・点滅している項目を調整できます。

- 5 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、時刻を合わせる



- 6 プレイ/ポーズボタンを押す



「CLOCK」を表示して時刻が設定されます。

ご注意

- ・点検や修理などでバッテリーをはずしたときには、もう1度時刻合わせをしてください。

- 7 タイトルボタンを押して元のモードに戻る



音質を調整する(バス/トレブル)

EQがONのときは、調整できません。「EQメニューを選ぶ」(41ページ)で調整してください。

- 1 オーディオモードボタンを押す

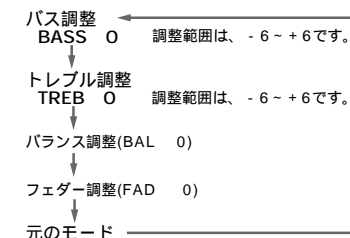


タイトル表示部に「BASS 0」を表示します。
EQがONのときは、「BAL 0」を表示します。

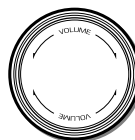
- 2 オーディオモードボタンを押して、バス (BASS) / トレブル (TREB) 調整を選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。



- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



- 4 オーディオモードボタンを押す



元の表示に戻ります。

バランス/フェダーを調整する

- 1 オーディオモードボタンを押す

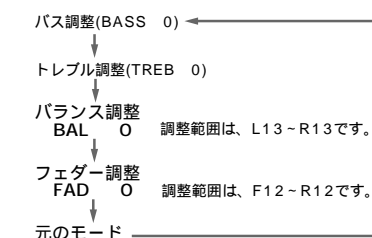


タイトル表示部に「BASS 0」を表示します。
EQがONのときは、「BAL 0」を表示します。

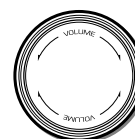
- 2 オーディオモードボタンを押して、バランス (BAL) / フェダー (FAD) 調整を選ぶ



押すたびに、次のように切り換わります。



- 3 ローターボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



左右のスピーカー (バランス) の調整
時計方向に回すと右のスピーカーの音が強調され、反時計方向に回すと左のスピーカーの音が強調されます。

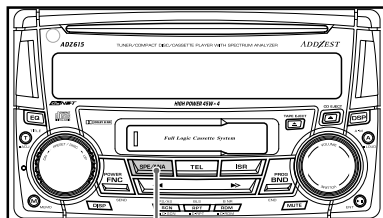
前後のスピーカー (フェダー) の調整
時計方向に回すと前のスピーカーの音が強調され、反時計方向に回すと後ろのスピーカーの音が強調されます。

- 4 オーディオモードボタンを押す



元の表示に戻ります。

■ 基本の操作



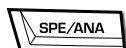
スペアナボタン

スペアナパターンを切り換える

スペクトラムアナライザー（スペアナ）とは...

周波数分析のことで、いくつかの周波数のサウンドレベルをディスプレイに表示します。本機は、8種類のパターンから、お好みにより選ぶことができます。

スペアナボタンを押す



押すたびに、スペアナパターンがパターン1 パターン2...パターン9と切り換わります。スペアナパターンについては、次ページをご覧ください。

* スペクトラムアナライザーのサウンドレベル表示は、次のようなときには表示しません。

- ラジオモード時のシーク選局中、プリセットスキャン中、オートストア中。
- 「NO DISC」表示中。
- エラー表示中。
- 消音（ミュート）中、一時停止中。

スペクトラムアナライザーの感度について...

スペクトラムアナライザーの感度（SENSITIVITY）は、パターン表示の感度です。感度を切り換えることで音量が変わることはありません。

初期設定は「MID」です。設定のしかたは、「スペクトラムアナライザーの感度を設定する（ANA SENS）」（46ページ）をご覧ください。

スペアナ表示の速さについて...

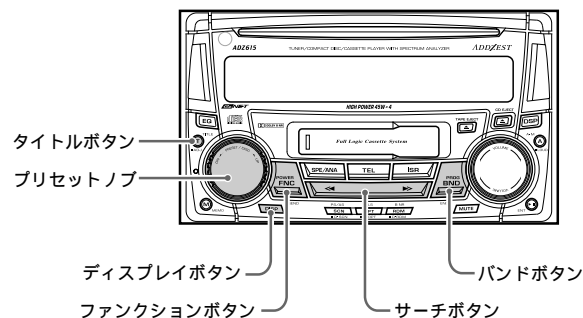
スペアナ表示の速さを3種類（HIGH、MID、LOW）に切り換えることができます。

初期設定は「HIGH」です。設定のしかたは、「スペアナ表示の速さを設定する（ANA SPD）」（46ページ）をご覧ください。

スペアナパターンについて

パターン1 (PATTERN1)	
パターン2 (PATTERN2)	
パターン3 (PATTERN3)	
パターン4 (PATTERN4)	
パターン5 (PATTERN5)	
パターン6 (PATTERN6)	
パターン7 (PATTERN7)	
パターン8 (SCAN)	パターン1から7のスペアナパターンを順次切り換えて表示します。
パターン9 (OFF)	選択モードに応じた選局/選曲等の情報を表示します。

■ 基本の操作



タイトル表示を切り換える

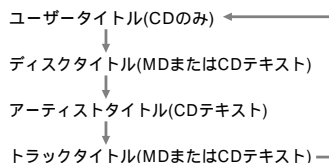
タイトル表示について...

CDモードやCD/MDチェンジャーモード時に、ディスクにあらかじめ登録されているディスクタイトルまたは曲(トラック)タイトルを、本機のディスプレイに表示します。

タイトルが表示されているときに、ディスプレイボタンを押し続ける(約1秒間)

DISP

ディスプレイボタンを押し続けるたびに、次のように表示が切り換わります。



- タイトル未設定のときは、「 NO-TTL」等を表示します。詳しくは「モード別ディスプレイ表示」(19,21ページ)をご覧ください。

タイトルをスクロールさせる

タイトルスクロールについて...

タイトルスクロールは、「タイトルスクロール」方法を設定する(SCROLLX 48ページ)で選択したスクロール方法に従い表示します。

- 「ON」: 自動でスクロールを開始し、スクロールし続けます。
- 「OFF」: タイトルボタンを押すとスクロールします。

以下の記載は、「OFF」に設定されているときの操作手順です。

タイトルが表示されているときに、タイトルボタンを押す



タイトルが左にスクロールし、タイトルの末尾まで表示すると、最初の8文字表示に戻ります。

ご注意

以下の設定のときにタイトルボタンを押すと、タイトル入力モードとなり、タイトルスクロールはしません。

- ラジオモードの「チューナーエリアを設定する」で「USER TITLE」を選択しているとき。
- CDまたはCDチェンジャーの「USER TITLE」を選択しているとき。

■ ラジオ放送を聴く

ラジオモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、ラジオモードを選ぶ



• ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → CD → テープ → (CDチェンジャー)
↓
(ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー)

受信バンドを切り換える

バンドボタンを押して、FM1、FM2またはAM1、AM2を選ぶ



• バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。

FM1 → FM2 → AM1 → AM2

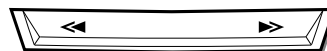
自動選局する(シーク選局)

1 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消灯すると、自動選局ができます。

2 サーチボタンの<<または>>を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まりません。

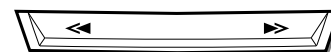
手動選局する(マニュアル選局)

1 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

2 サーチボタンの<<または>>を押して、放送のあるところに合わせる



* 手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

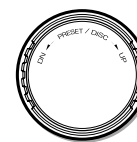
- ステップ選局のときは、サーチボタンを押すと、周波数が1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続ける(約1秒間)と、周波数が連続して切り換わり、お好みの周波数に合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてある放送局を選局する機能です。

プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、聴きたい放送局を選ぶ



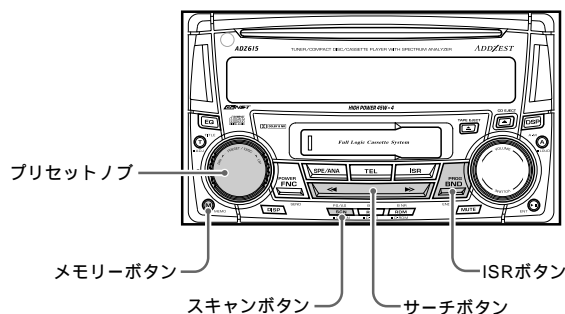
ディスプレイにプリセットNo.を表示します。

- メモリーするときは、「プリセットメモリーする」(次項)をご覧ください。

ご注意

- 選局時にメモリーボタンを押し続け(約2秒間)しないでください。押し続けるとプリセットメモリーとなり、受信中の放送局をプリセットメモリーに登録します。

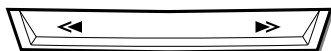
■ ラジオ放送を聴く



プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...
プリセットメモリーできるのは、FM1、FM2、AM1、AM2各6局、合計で24局です。

- 1 サーチボタンの◀または▶を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ



- 2 メモリーボタンを押す



ディスプレイの「CH」が点滅します。

- 3 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、登録したいプリセットメモリー番号を選ぶ



- 4 メモリーボタンを押し続ける(約2秒間)



登録されると、ディスプレイにプリセットNo.を表示し、「ピー」と鳴ります。

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...

自動受信した放送局を、自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「A STORE」を約1秒間表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.を表示します。

- ・自動的に、受信感度の良い放送局がプリセットメモリー(1~6)に登録されていきます。

ご注意

- ・自動メモリーをすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってから登録します。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、登録されなかったプリセットメモリーにはそれまでの登録内容が残っています。
- ・すでに登録されている放送局を、別のプリセットメモリーに登録することはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...
プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されている放送局を順に受信します。

スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「FI P-SCAN」を約1秒間表示し、モード表示部にプリセットスキャン動作中のプリセットNo.を表示します。

- ・プリセットスキャンはFM1、FM2あるいはAM1、AM2のプリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- ・スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)と、オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

スキャンボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

特定の放送局をすぐに選局する (ISR機能)

ISR(Instant Station Recall)機能について...

どのモードからでもすぐに特定の放送局を呼び出す機能です。交通情報など、運転中に聞きたい情報などをすばやく選局できます。(初期設定では、AM1620kHzの交通情報が登録されています)

ISRボタンを押す



初期設定時は、タイトル表示部に受信周波数(「AM 1620」)を、モード表示部「ISR」を表示し、ISRメモリーに登録されている放送局を選局します。

元のモードに戻すには...

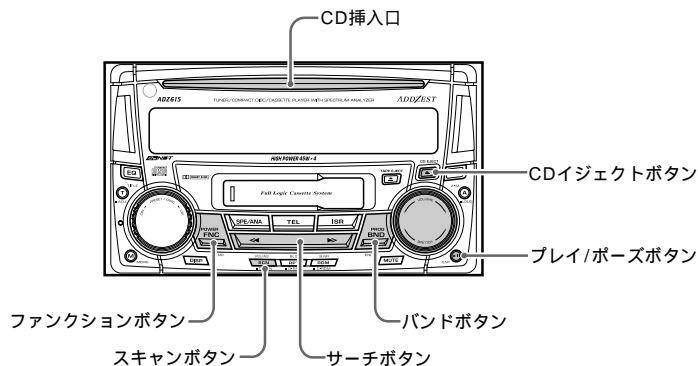
もう1度ISRボタンを押してください。

ISRメモリーに登録するには...

ラジオモードで、登録したい放送局を選局し、ISRボタンを押し続ける(約2秒間)てください。

ISRメモリーに登録されます。

CDを聴く



CDを入れる

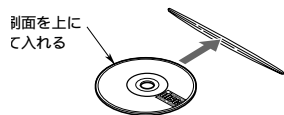
ディスク・イン・プレイ機能について...

本機の電源が入っていない状態からでも、車のエンジンキーがONまたはACCであればCDを入れると、自動的に電源が入り、演奏をはじめます。

注意

- CD挿入口に手や指を入れないでください。また、異物を入れないでください。
- セロハンテープやレンタルCDのラベルなどの糊がはみ出していたり、はがした痕があるCDは入れないでください。CDが取り出せなくなったり、故障の原因となります。

CD挿入口にCDを入れる



演奏が始まります。

- CDは、タイトル等が印刷されている面を上側にして入れてください。
- すでにCDが入っている場合には、CDは入れられません。無理に入れないでください。
- 本機は、表示のあるコンパクトディスク以外は使用できません。また、ハート形や八角形などの特殊形状のCDは、使用できません。

- CD-ROMは、使用しないでください。
- CD-Rで記録されたCDは使用できない場合があります。また、CD-RWで記録されたCDは使用できません。

シングルCD (8cmCD) について...

- シングルCDはアダプターを付けずにお使いください。
- シングルCDを入れるときは、CD挿入口の中央から入れてください。

CDを取り出す

バックアップイジェクト機能について...

本機の電源が入っていない状態からでもイジェクトボタンを押すと、CDを取り出すことができます。

CDイジェクトボタンを押す



- CDをイジェクトしたままにしておくと、約15秒後に本機内に引き込まれます。(オートリロード機能)
- シングルCDの場合はオートリロードされませんので、イジェクトしたときには必ずシングルCDを取り出してください。

ご注意

- オートリロード前に無理にCDを押し込むと、ディスク表面にキズのつく恐れがあります。

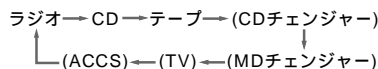
すでに入っているCDを聴く

ファンクションボタンを押して、CDモードを選ぶ



CDモードになると、自動的に演奏が始まります。

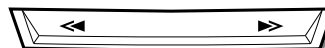
- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す



▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

◀◀を押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- 曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「01 PAUSE」を表示します。

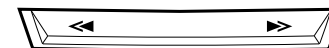
続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける



最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

演奏しているCDの最初の曲から演奏をはじめます。

バンドボタンを押す



最初の曲(トラックNo.1)から演奏されます。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

CDに収録されている全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



ディスプレイのタイトル表示部に「T-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

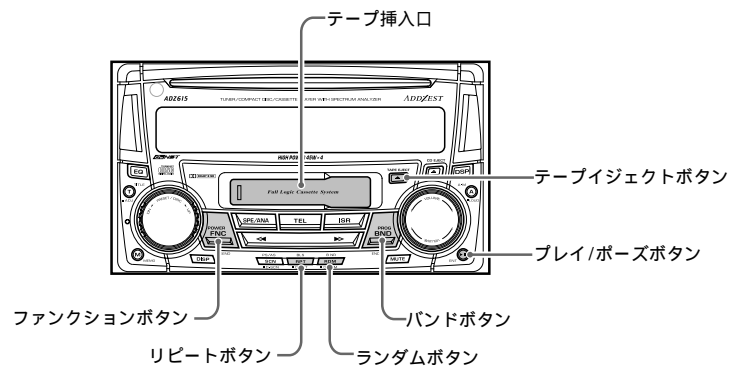
スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

タイトル表示部の「T-SCAN」が消え、いま演奏している曲が演奏されます。

- スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

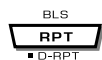
■ CDを聴く



1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「T-REPEAT」を約1秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、演奏している曲から通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について
CDに収録されている曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「T-RANDOM」を約1秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

カセットテープを聴く

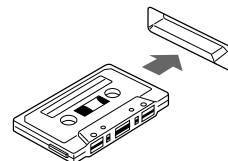
カセットテープを入れる



注意

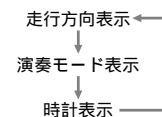
テープ挿入口に手や指を入れないでください。
また異物を入れないでください。
また、変形しているカセットテープは使用しないでください。

テープ挿入口にカセットテープを入れる



テープ挿入口のドアが閉まり、演奏がはじまります。

- ・カセットテープは、テープ面を右側にして入れてください。
- ・すでにカセットテープが入っていると、入れられません。無理に入れないでください。ディスプレイボタンを押すたびに、表示が切り換わります。(テープモード時)



カセットテープを取り出す

テープイジェクトボタンを押す



テープ挿入口のドアが開き、テープがイジェクトされます。

オートメタルセレクト機能について...

メタル・クロームテープ(70μsec)を入れると、自動的にメタルテープに対応します。(ディスプレイ表示はしません)

オートシャットドア機能について...

カセットテープの挿入/排出時に自動的にドアが閉まり、ゴミやホコリからテープメカニズムを守ります。

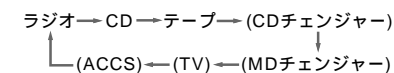
すでに入っているカセットテープを聴く

ファンクションボタンを押して、テープモードを選ぶ



テープモードになると、自動的に演奏がはじまります。

- ・ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「PAUSE」を表示します。

続けて演奏を聴きたいときには...

もう1度、プレイ/ポーズボタンを押してください。

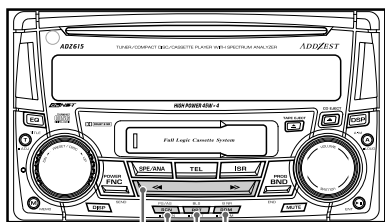
カセットテープの演奏面を切り換える

バンドボタンを押す



タイトル表示部に「SIDE-2」を表示して、演奏面を切り換えます。

■ カセットテープを聴く

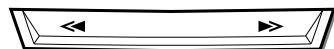


サーチボタン
スキャンボタン
ランダムボタン
リピートボタン

早送り/巻戻しする

早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押す

巻戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押す

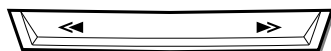


早送りのときは、タイトル表示部に「FF >>>」を表示して、テープが早送りされ、終端になると、自動的に裏面の演奏をはじめます。

巻戻しのときは、タイトル表示部に「REW <<<」を表示して、テープが巻戻され、終端になると、自動的に演奏をはじめます。

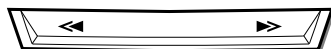
曲の頭出しをする(APC機能: Auto Program Control)

次の曲の頭出しをするには、サーチボタンの▶▶を続けて2回押す



タイトル表示部に「A-FF >>>」を表示して、次の曲の頭出しをします。

いま聴いている曲の頭出しをするには、サーチボタンの◀◀を続けて2回押す



タイトル表示部に「A-REW >>>」を表示して、聴いている曲の頭出しをします。

モニター機能について...

テープの早送り/巻戻し中や、頭出し中、APC動作中に他のモードに切り換えた場合、テープメカはこれらの動作が終了してから止まります。

ドルビーノイズリダクションで録音されたカセットテープを聴く(ドルビーNR)

ドルビーノイズリダクションシステムについて...

録音時に高い周波数部分のレベルを上げ、演奏時に元に戻すことで、カセットテープ特有の「サー」というノイズ音を小さくするシステムです。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「B NR」が点灯して、ドルビーノイズリダクションが設定されます。

・ランダムボタンを押すたびに、次のように切り換わります。

B NR → OFF

ドルビーノイズリダクションは、ドルビーラポラトリーズライセンスリングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号は、ドルビーラポラトリーズライセンスリングコーポレーションの商標です。

ドルビーNRを解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

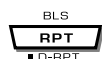
ディスプレイの「B NR」が消え、ドルビーノイズリダクションがOFFします。

曲間をとばして聴く(ブランクスキップ)

ブランクスキップについて...

カセットテープ演奏中に無録音部分が約12秒以上続くと、自動的にテープを早送りして、録音されている部分を頭出しする機能です。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「BLS」が点灯し、タイトル表示部に「BLS」を約1秒間表示して、約12秒以上の無録音部分をスキップします。また、スキップした

後は、ブランクスキップの待機状態になります。ブランクを検出して早送りしているときにブランクスキップを解除した場合は、演奏をはじめます。

ブランクスキップを解除するには...

もう1度リピートボタンを押し続けて(約1秒間)ください。

ディスプレイの「BLS」が消え、通常の演奏に戻ります。

聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

カセットテープに録音されている曲が約10秒間ずつ演奏される機能です。

スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「SCAN >>>」を表示して、スキャン演奏します。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度、スキャンボタンを押してください。

タイトル表示部の「SCAN >>>」が消えて、その曲が演奏されます。

繰り返し聴く(リピート演奏)

リピートボタンを押す



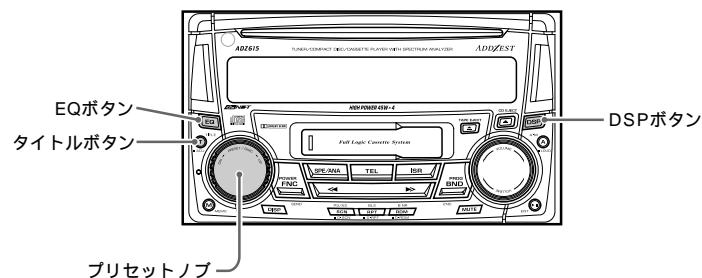
ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「REPEAT」を約1秒間表示して、いま演奏している曲が繰り返し演奏します。

リピート演奏を解除するには...

もう1度、リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消えて、演奏している曲から通常の演奏になります。

DSP/EQを調整する



DSPメニューを選ぶ

DSP機能について...

DSP(デジタルサウンドプロセッサー)は、デジタル信号の処理により、音を劣化させずにサウンド効果を車室内でシミュレーションしてお楽しみいただく機能です。

1 DSPボタンを押す



ディスプレイの「DSF」が点滅します。

2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、DSPメニューを選ぶ



DSPメニュー

機能名	内容
STADIUM	スタジアムでの開放感あふれるサウンド
HALL	大ホールのような音場
CLUB	小規模なディスコホールのような音場
CHURCH	大聖堂のような音場
L-ROOM	リスニングルームのような音場

3 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



DSP効果をON/OFFする

DSPボタンを押し続ける(約1秒間)



DSPボタンを押し続けるたびに、ON/OFFが切り換わります。

・DSP効果がONになると、インジケータ「DSF」が点灯します。

エフェクト(EFFECT)を調整する

エフェクトについて...

エフェクトとは、音が壁などにぶつかりはね返ってくる反射音のことです。本機は反射音の効果量を変えられます。

1 DSPボタンを押す



ディスプレイの「DSF」が点滅します。

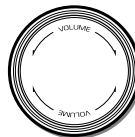
2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、調整したいDSPメニューを選ぶ



3 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、調整する



・エフェクトの調整項目は、0%~70%です。

5 タイトルボタンを押して、DSPメニューに戻る



調整したDSPメニューに戻ります。

6 DSPボタンを押して、元のモードに戻る



EQメニューを選ぶ

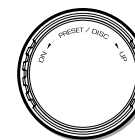
EQ機能について...

EQ(イコライザー)は、周波数特性などを補正・変更して、お好みの音質を作り出す機能です。

1 EQボタンを押す



2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、EQメニューを選ぶ



EQメニュー

機能名	内容
IMPACT	低域と高域を増強
B-BOOST	低域を増強
ACOUSTIC	中域を増強
FLAT	原音、フラットイコライジング

3 EQボタンを押して、元のモードに戻る



EQ効果をON/OFFする

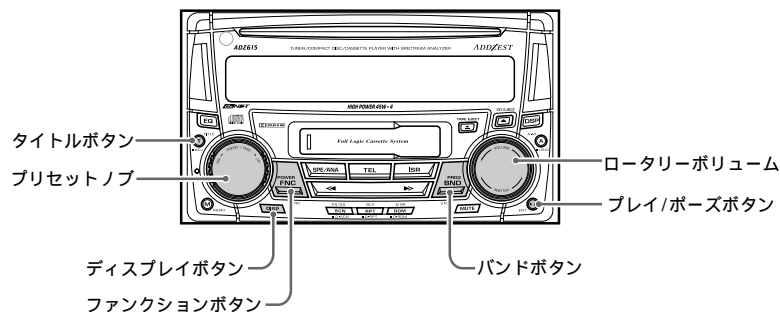
EQボタンを押し続ける(約1秒間)



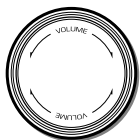
EQボタンを押し続けるたびにON/OFFが切り換わります。

・EQ効果がONになるとインジケータ「G.EQ」が点灯します。

■ タイトルをつける



- 4** ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、コピーしたい受信エリアを選ぶ



- 5** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



- ・受信エリアについては、「チューナーエリアを設定する(ARER) (49ページ)をご覧ください。

タイトルを削除する

- 1** ファンクションボタンを押してモードを選ぶ(ラジオ、CDまたはCDチェンジャー)



- 2** 削除したいタイトルのラジオ局を受信するまたはCDを演奏する

- 3** ディスプレイボタンを押して、タイトル表示にする



- 4** タイトルボタンを押す



ディスプレイのモード表示部に「TITL」が表示され、タイトル入力表示になります。

- 5** バンドボタンを押す



タイトルが消えます。

- 6** プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトルが削除され次のように表示されます。

- ・ラジオ/TVモードのとき:
「ST.TITLE」
- ・CD/CDチェンジャーモードのとき:
「NO-TTL」

■ 設定を変更する(アジャストモード)

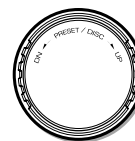
設定項目を選ぶ

- 1** タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



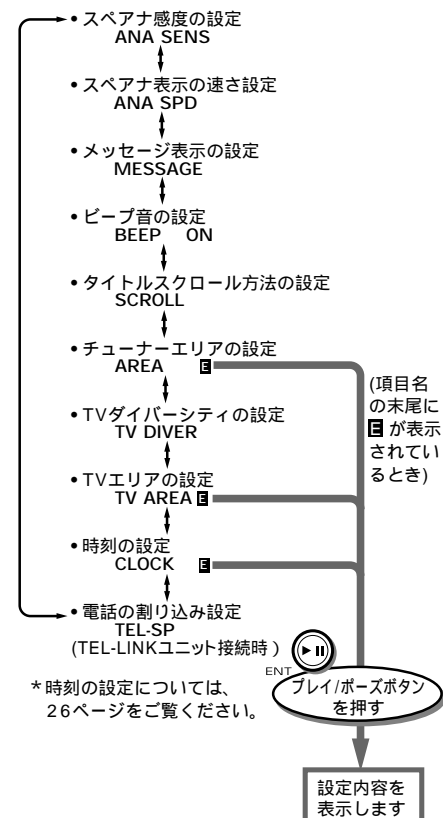
タイトル表示部に「ANA SENS」を表示して、アジャストモードになります。

- 2** プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、設定する項目を選ぶ



- ・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が右図のように切り換わります。

* 末尾に「E」の表示されていない項目名は、項目を選択してから約2秒後に、設定内容表示に切り換わります。



* 時刻の設定については、26ページをご覧ください。

■ 設定を変更する（アジャストモード）

スペクトラムアナライザーの感度を設定する(ANA SENS)

スペクトラムアナライザー感度 (SENSITIVITY) について...

スペアナ感度は、パターン表示の感度です。本機は、3種類(HIGH,MID,LOW)の感度に切り換えることができます。

- ・初期設定は、「MID」です。
- ・スペアナ感度を切り換えることによって、音量が変わることはありません。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

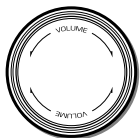


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「ANA SENS」を選ぶ



- ・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。「ANA SENS」を選ぶと、2秒後に感度調整表示(「MID」等)になります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、スペアナ感度を設定する



スペアナ感度は次のように切り換わります。
HIGH ↔ MID ↔ LOW

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

スペアナ表示の速さを設定する(ANA SPD)

スペアナ表示の速さ (ANA SPD) について...

スペアナ表示の速さは、パターンの切り換え表示の速さです。3種類(HIGH,MID,LOW)の速さに切り換えることができます。

- ・初期設定は、「HIGH」です。

- 1 アジャストモードにする(約1秒間)て、アジャストモードにする

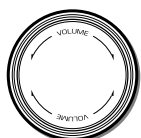


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「ANA SPD」を選ぶ



- ・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。「ANA SPD」を選ぶと、2秒後に感度調整表示(「HIGH」等)になります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、スペアナ表示の速さを設定する



スペアナ表示の速さは次のように切り換わります。

HIGH ↔ MID ↔ LOW

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

メッセージを表示させる(MESSAGE)

メッセージ表示機能について...

電源ON/OFF時に、ディスプレイにメッセージを表示します。

本機では、お好みに合わせてこれらのメッセージの表示をON/OFFすることができます。

- ・初期設定は、「ON」です。
- ・設定をONにすると、電源を入れたときに「WELCOME!」、電源を切ったときに「GOOD-BYE」を表示します。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

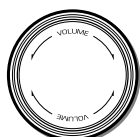


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「MESSAGE」を選ぶ



- ・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。「MESSAGE」を選ぶと、2秒後に設定表示(「ON」等)になります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、メッセージ表示を設定する



回すたびに、ON/OFFが切り換わります。

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

ボタン操作時のビーブ音を設定する(BEEP)

ビーブ音について...

操作時になる「ビッ」という音をビーブ音といいます。本機は、この音が鳴らないように設定できます。

- ・初期設定は、「BEEP ON」です。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

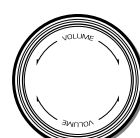


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「BEEP ON」を選ぶ



- ・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ビーブ音を設定する



回すたびに、ON/OFFが切り換わります。

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

■ 設定を変更する(アジャストモード)

タイトルスクロール方法を設定する(SCROLL)

タイトルスクロールについて...
タイトルスクロール方法をお好みに合わせて、設定することができます。

・初期設定は、「ON」です。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

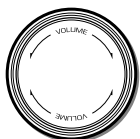


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「SCROLL」を選ぶ



・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。「SCROLL」を選ぶと、2秒後に設定表示(「ON」等)になります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、スクロール方法を設定する



回すたびに、次のように表示が切り換わります。

ON(自動でスクロールします。)



OFF(タイトルボタンを押すとスクロールします。)

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

TVダイバーシティーを設定する(TV DIVER)

TVダイバーシティーについて...
TV放送受信時に、受信状態の良いアンテナに自動的に切り換えます。(TVチューナー接続時)

・初期設定は「ON」です。TVダイバーシティアンテナを使用していないときは「OFF」に設定し直してください。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする

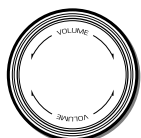


- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「TV DIVER」を選ぶ



・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。「TV DIVER」を選ぶと、2秒後に設定表示(「ON」等)になります。

- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「ON」または「OFF」を選ぶ



- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

チューナーエリアを設定する(AREA)

チューナーエリアについて...

チューナーエリア(ラジオを受信する地域)を選択すると、選局した周波数に対する放送局名を自動的に表示することができます。

・初期設定は、「コウイキ カントウ(広域 関東)」です。
・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」(タイトル入力された放送局名)にしてください。また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(42ページ)をご覧ください。

- 1 タイトルボタンを押し続ける(約1秒間)



アジャストモードになります。

- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「AREA」を選ぶ



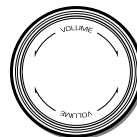
・プリセットノブを時計方向または反時計方向に回すたびに、設定項目が切り換わります。

- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



ディスプレイのタイトル表示部にエリア名を表示します。

- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、ラジオの受信エリアを選ぶ



回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは次の11種類から選ぶことができます。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホク	東北
コウイキ カントウ	広域 関東
コウイキ トウカイ	広域 東海
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
チュウゴク	中国
シコク	四国
キュウシュウ	九州
オキナワ	沖縄

- 5 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

イージーインプット機能について

受信エリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続け(約2秒間)ると、選択したチューナーエリアの放送局名がユーザーメモリへ登録されます。

■ 設定を変更する (アジャストモード)

TVエリアを設定する(TV AREA)

テレビエリアについて...

テレビエリア(テレビを受信する地域)を選択すると、選局したチャンネルに対する放送局名を自動的に表示することができます。(TVチューナー接続時)

・初期設定は、「カントウ」(関東)です。

- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



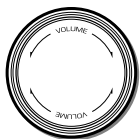
- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「TV AREA」を選ぶ



- 3 プレイ/ポーズボタンを押す



- 4 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、TVエリアを選ぶ



回すたびに、エリアが切り換わります。エリアは右上図の22種類から選ぶことができます。

・オリジナルの放送局名を表示する場合は、「USER TITLE」にしてください。
また、オリジナルの放送局名をつけるときは、「タイトルをつける」(42ページ)をご覧ください。

表示名	エリア名
USER TITLE	タイトル入力された放送局名
サッポロ	札幌
トウホクA	東北A
センダイ	仙台
トウホクB	東北B
フクシマ	福島
シンエツ	信越
カントウ	関東
シズオカ	静岡
トウカイチュウブ	東海中部
ホクリク	北陸
キンキ	近畿
サンイン	山陰
オカヤマ	岡山
サンヨウ	山陽
シコクA	四国A
シコクB	四国B
キュウシュウA	九州A
キュウシュウB	九州B
キュウシュウC	九州C
カゴシマ	鹿児島
オキナワ	沖縄

- 5 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

イージーインプット機能について...

テレビエリアを選択してから、プレイ/ポーズボタンを押し続ける(約2秒間)と、選択したテレビエリアの放送局名が「USER TITLE」メモリへ登録されます。

電話の割り込みを設定する(TEL-SP)

電話の割り込み機能について...

本機と別販のオーディオコントロール付TEL-LINKユニット(JCH540Z)を接続することにより、電話の着信時に、車内のスピーカーから着信音および通話音声を聞くことができます。さらに、本機では通話音声を話すスピーカーを左または右に切り換えることができます。

・初期設定は「LEFT」です。

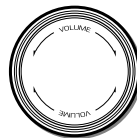
- 1 タイトルボタンを押し続け(約1秒間)て、アジャストモードにする



- 2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、「TEL-SP」を選ぶ



- 3 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、「LEFT」または「RIGHT」を選ぶ



ご注意

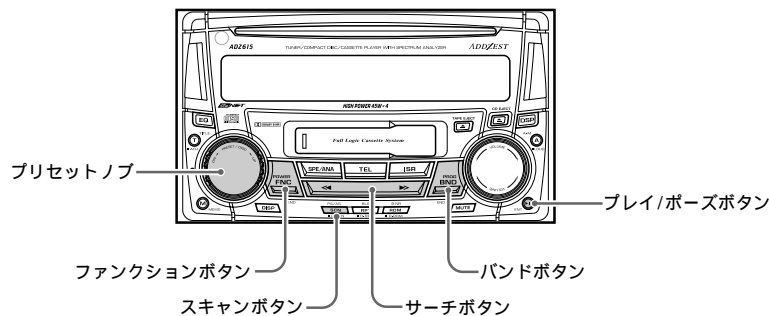
・ハウリングを防止するため、右ハンドル車の時は左スピーカー(LEFT)に、左ハンドル車の時には右スピーカー(RIGHT)に設定してください。

- 4 タイトルボタンを押す



元のモードに戻ります。

CD/MDチェンジャーの操作



CDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET結線対応のCDチェンジャーを接続してコントロールできます。CeNET結線対応のCDチェンジャーとMDチェンジャーを合わせて2台まで接続できます。

MDチェンジャーについて...

本機は、別販のCeNET接続対応のMDチェンジャーを接続してコントロールできます。

CD-ROMについて...

本機ではCD-ROMを操作できません。

チェンジャーモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、CD(またはMD)チェンジャーモードを選ぶ



CD(またはMD)チェンジャーモードになると、ディスプレイに「DISC」が点灯し、自動的に演奏がはじまります。

- ・ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → CD → テープ → (CDチェンジャー)
 ↓
 (ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー)

2台のCD(またはMD)チェンジャーを接続したときは...

ファンクションボタンを押して、演奏するCD(またはMD)チェンジャーを選択してください。(ファンクションボタンを押すたびに切り換わります。)

- ・CDチェンジャーにマガジンが入っていないときは「NO MAGA」と表示されます。また、マガジン内にCDが入っていないときには、「NO DISC」と表示されます。
- ・MDチェンジャーにMDが入っていないときは、「NO DISC」と表示されます。
- ・タイトル表示については、「タイトル表示を切り換える」(30ページ)をご覧ください。

聴きたいCD(またはMD)を選ぶ

プリセットノブを時計方向または反時計方向に回す

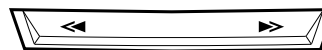


タイトル表示部にディスクNo(「DISC-3」など)を表示して、演奏をはじめます。

曲を選ぶ

次の曲を聴くときは、サーチボタンの▶▶を押す

前の曲を聴くときは、サーチボタンの◀◀を2回押す



▶▶を押すと、次の曲が演奏されます。また押した回数だけ先の曲が演奏されます。

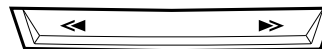
◀◀を1回押すと、演奏中の曲を最初から演奏します。さらに押すと、押した回数だけ前の曲が演奏されます。

- ・曲の頭部分を演奏しているときにサーチボタンの◀◀を2回押すと、2曲前の曲へ戻ることがあります。

早送り/早戻しする

早送りするときは、サーチボタンの▶▶を押し続ける

早戻しするときは、サーチボタンの◀◀を押し続ける



演奏を止める(一時停止)

プレイ/ポーズボタンを押す



タイトル表示部に「01 PAUSE」を表示します。

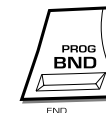
続けて演奏を聴きたいときには...
 もう1度プレイ/ポーズボタンを押してください。

最初の曲から聴く(トップ機能)

トップ機能について...

ディスクの最初の曲(トラックNo.1)から演奏させる機能です。

バンドボタンを押す



聴きたい曲を探す(スキャン演奏)

スキャン演奏について...

チェンジャー内のCD(またはMD)の全曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押す



ディスプレイのタイトル表示部に「T-SCAN」を表示して、スキャン演奏をします。

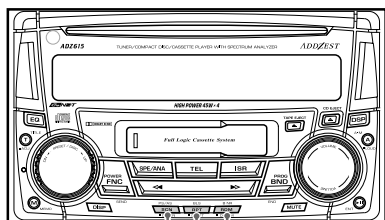
- ・スキャン演奏は、演奏している曲の次の曲からはじまります。

スキャン演奏を解除するには...

もう1度スキャンボタンを押してください。

ディスプレイの「T-SCAN」が消え、いま演奏している曲から演奏します。

CD/MDチェンジャーの操作

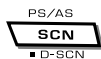


スキャンボタン
ランダムボタン
リピートボタン

聴きたいCD(またはMD)を探す (ディスクスキャン演奏)

ディスクスキャン演奏について...
チェンジャー内の全CD(またはMD)の最初の曲を約10秒間ずつ演奏します。

スキャンボタンを押し続ける(約1秒間)



タイトル表示部に「D-SCAN」を表示してディスクスキャン演奏をします。

- ディスクスキャン演奏は、演奏しているCD(またはMD)の次のCD(またはMD)からはじまります。

ディスクスキャン演奏を解除するには...

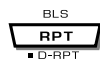
もう1度スキャンボタンを押してください。

いま演奏しているCD(またはMD)から演奏します。

1曲を繰り返し聴く(リピート演奏)

リピート演奏について...
演奏中の曲を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押す



ディスプレイに「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「T-REPEAT」を約1秒間表示して、リピート演奏をします。

リピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「RPT」が消え、通常の演奏になります。

1枚のCD(またはMD)を繰り返し聴く (ディスクリピート演奏)

ディスクリピート演奏について...
演奏中のCD(またはMD)を繰り返し演奏します。

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「DISC」と「RPT」が点灯し、タイトル表示部に「D-REPEAT」を約1秒間表示して、ディスクリピート演奏をします。

ディスクリピート演奏を解除するには...

もう1度リピートボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「RPT」が消え、通常の演奏になります。

ランダムに演奏を聴く(ランダム演奏)

ランダム演奏について...
演奏中のCD(またはMD)の全曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押す



ディスプレイに「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「T-RANDOM」を約1秒間表示して、ランダム演奏をします。

ランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

全CD(またはMD)の演奏をランダム に聴く(ディスクランダム演奏)

ディスクランダム演奏について...
チェンジャー内のCD(またはMD)の曲を順不同に演奏します。

ランダムボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイに「DISC」と「RDM」が点灯し、タイトル表示部に「D-RANDOM」を約1秒間表示して、ディスクランダム演奏をします。

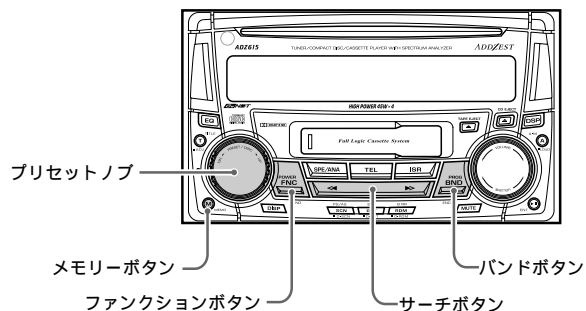
ディスクランダム演奏を解除するには...

もう1度ランダムボタンを押してください。

ディスプレイの「DISC」と「RDM」が消え、いま演奏している曲から通常の演奏になります。

外部機器の操作

テレビを見る



TVチューナーコントロール機能について...

別販のCeNET結線対応のTVチューナーを接続すると、本機でTVチューナーをコントロールできます。TVを見るためには、TVチューナーとモニターが必要です。

TVモードを選ぶ

ファンクションボタンを押して、TVモードを選ぶ



- ファンクションボタンを押すたびに、モードが切り換わります。(接続していない機器のモードは表示しません)

ラジオ → CD → テープ → (CDチェンジャー)
↓
(ACCS) ← (TV) ← (MDチェンジャー)

受信バンドを切り換える

バンドボタンを押して、TV1またはTV2を選ぶ



- バンドボタンを押すたびに、バンドが切り換わります。

TV1 → TV2

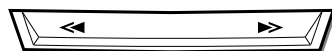
自動選局する(シーク選局)

- 「MANU」が点灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が消えると、自動選局ができます。

- サーチボタンの<<または>>を押す



放送のあるところで、自動的に選局が止まります。

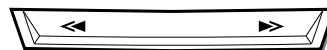
手動選局する(マニュアル選局)

- 「MANU」が消灯しているときは、バンドボタンを押し続ける(約1秒間)



ディスプレイの「MANU」が点灯すると、手動選局ができます。

- サーチボタンの<<または>>を押して、放送のあるところに合わせる



手動選局には、クイック選局とステップ選局があります。

- ステップ選局のときは、サーチボタンを1回押すと、チャンネルが1ステップずつ切り換わります。
- クイック選局のときは、サーチボタンを押し続けると、チャンネルが連続して切り換わり、好みのチャンネルに合わせることができます。

プリセット選局する

プリセット選局について...

あらかじめメモリーしてあるチャンネルを選局する機能です。

プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、聴きたい放送局を選ぶ



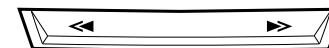
ディスプレイのプリセットNo.インジケータが点灯します。

プリセットメモリーする

プリセットメモリーについて...

プリセットメモリーできるのは、TV1、TV2各6局、合計で12局です。

- サーチボタンの<<または>>を押して、メモリーしたい放送局を選ぶ

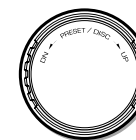


- メモリーボタンを押す



ディスプレイの「CH」が点滅します。

- プリセットノブを時計方向または反時計方向に回して、登録したいプリセットメモリー番号を選ぶ

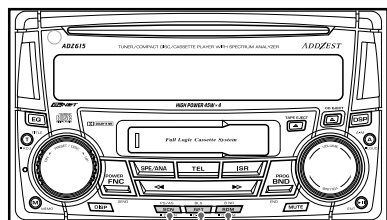


- メモリーボタンを押し続ける(約2秒間)



登録されると「ピー」と鳴り、ディスプレイの「CH」表示が点滅から点灯に変わります。

■ テレビを見る



スキャンボタン
リピートボタン

自動メモリーする(オートストア機能)

オートストア機能について...
自動受信したチャンネルを自動的にプリセットメモリーします。

スキャンボタンを押し続ける(約2秒間)



タイトル表示部に「A STORE」を表示し、自動メモリー動作中のプリセットNo.インジケータが点灯します。

自動的に、受信電波の強い放送局がプリセットメモリー(1～6)に登録されていきます。

- ・自動メモリーすると、これまで登録されていた放送局は消去されます。
- ・登録できる放送局が6局に満たない場合は、低い周波数に戻ってから登録します。また、自動メモリーを2回繰り返しても6局に満たない場合は、登録されなかったプリセットメモリーにはそれまでの登録内容が残っています。
- ・すでに登録されている放送局を、別のプリセットメモリーに登録することはありません。

放送を確かめる(プリセットスキャン)

プリセットスキャンについて...
プリセットスキャンは、プリセットメモリーに登録されているチャンネルを順に受信します。

スキャンボタンを押す



タイトル表示部に「TV1P-SCN」を表示し、プリセットスキャン動作中のプリセット番号が点灯します。

TV1,TV2のプリセットメモリーに登録している放送局を、順に約7秒間ずつ受信します。また受信できない放送局はとばして、次の放送局を受信します。

ご注意

- ・スキャンボタンを押し続けると(約2秒間)、オートストア機能になります。ご注意ください。

プリセットスキャンを解除するには...

もう一度、プリセットスキャンボタンを押してください。

ボタンを押したときに受信していた放送局を受信します。

ステレオ/モノラル音声を切り換える

リピートボタンを押す



リピートボタンを押すたびに、ステレオ音声(STEREO)とモノラル音声(MONO)を切り換えます。

メイン/サブ音声を切り換える

リピートボタンを押し続ける(約1秒間)



リピートボタンを押し続けるたびに、メイン音声(MAIN)とサブ音声(SUB)を切り換えます。

ビデオを見る

この機能は、TVチューナーにビデオ機器が接続されているときに操作できます。

TVモード時にランダムボタンを押す

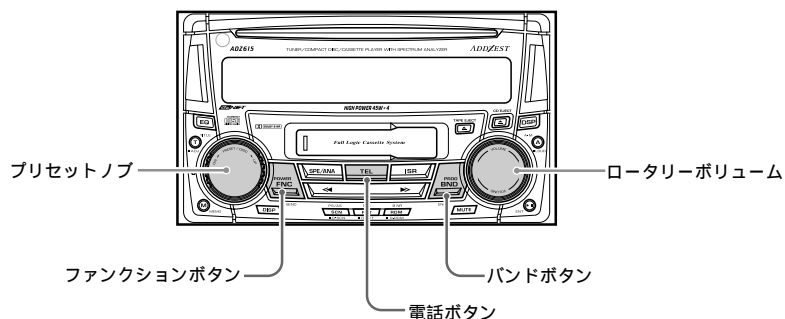


TVモードからVTRモードに切り換わります。TV画面がビデオ入力状態となり、ビデオを見ることができます。

TVモードに戻すには...

もう一度、ランダムボタンを押してください。

携帯電話機を操作する



本機は、別販のオーディオコントロール付 TEL-LINK ユニット(JCH540Z)を接続することにより、携帯電話機による通話をコントロールすることができます。

TEL-LINKユニットに接続可能な、デジタル携帯電話については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または弊社お客様相談室にお問い合わせください。



警告

- ・運転中の電話は大変危険です。電話をかけるとき、または受けるときには車を安全な場所に停車させてから操作してください。

電話をかける (スーパースピーダイヤル)

1 電話ボタンを押す



電話モードに切り換わります。

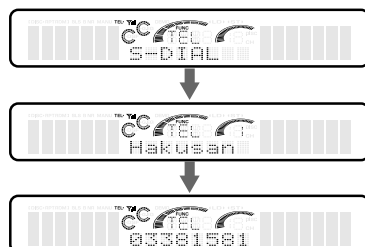
2 プリセットノブを時計方向または反時計方向に回す



携帯電話機のメモリーダイヤルを呼び出し、登録内容を音声で案内し、更にディスプレイ表示して、自動で発信します。

- ・ファンクションボタンを押すと、即座にダイヤル発信します。

発信中の表示



通話中の表示



- ・通話時は、ディスプレイのモード表示部「TEL」が点灯します。
- ・本機に登録されたメモリーダイヤル番号は変更できません。変更するときは、携帯電話機側で変更してください。

3 電話ボタンを押して、元のモードに戻る



通話を終了するには...

バンドボタンを押してください。

着信電話を保留する

バンドボタンを押す



保留を解除するには...

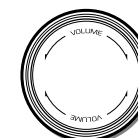
ファンクションボタンを押してください。

通話音量を調整する

1 電話ボタンを押して、電話モードにする



2 ロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して、通話音量を調整する



- ・通話時にロータリーボリュームを時計方向または反時計方向に回して調整することもできます。
- ・調整した通話音量はメモリーされます。
- ・電話モード時の通話音量は、オーディオ時の音量設定と異なります。

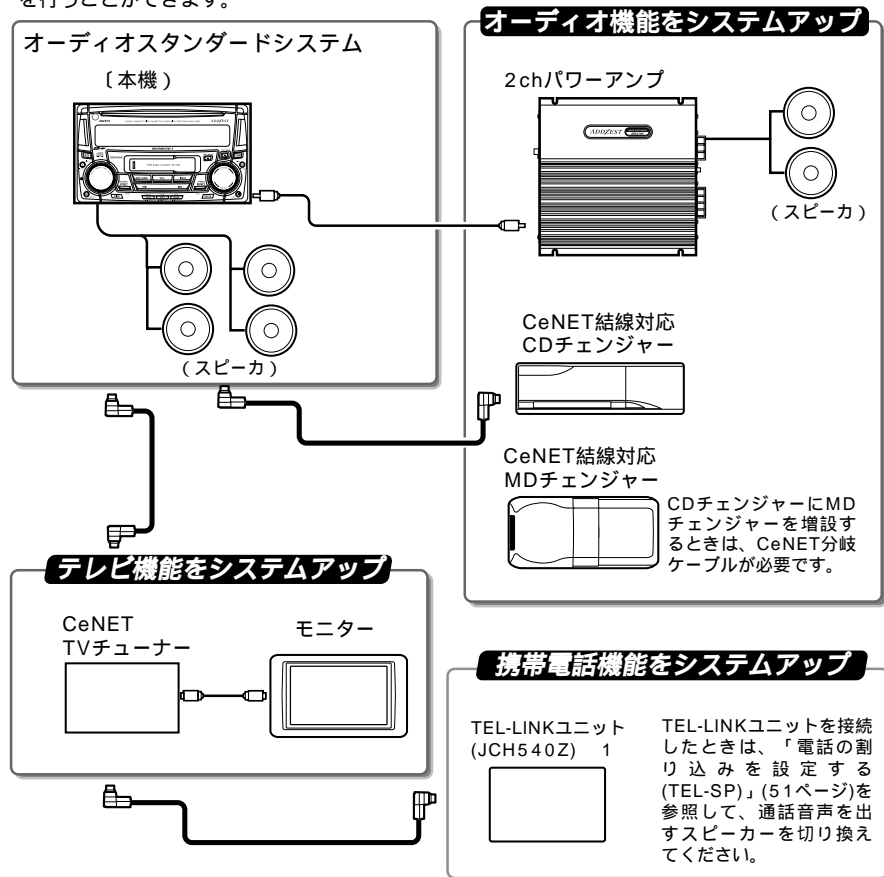
ご注意

- ・通話音量を出すスピーカーは、助手席側のスピーカーを指定してください。設定を間違えるとハンズフリー通話のときにハウリングを起こします。スピーカーの設定のしかたは、「電話の割込を設定する」(51ページ)をご覧ください。

外部機器の操作

システムアップについて

本機は**CeNET**マークのついている外部機器を接続することにより、様々なシステム拡張を行うことができます。



1. TEL-LINKユニットに接続可能なデジタル携帯電話機については、お買い求めの販売店にお問い合わせいただくか、カタログをご覧ください。または、弊社お客様相談室にお問い合わせください。
2. システムアップおよびそれに必要なCeNETケーブル等については販売店または弊社お客様相談室にお問い合わせください。また、接続についての詳細は、ご購入商品に付属の取付説明書をご覧ください。

- : CeNETケーブルで結線します。
(2)
CeNETケーブルの最大配線長は20m以下です。システムを拡張するときは、次ページの「CeNETケーブルについて」のケーブル長を確認ください。
- : RCAピンケーブルで結線します。
(2)

CeNETケーブルについて

CeNET接続ケーブルの最大配線長は、20m以下(CeNET分岐ケーブルCCA-519含む)です。接続の際は、下表をご参照のうえ、配線長が20mを越えないように、注意してください。

CeNET 接続ケーブル長一覧表


CeNETケーブル同梱機種	ケーブル長
CeNETCDチェンジャー	5m <オス オス>
CeNETMDチェンジャー	5m <オス オス>
オーディオコントロール付TEL-LINKユニット	2.5m <オス オス>
CeNET TVチューナー	5m <オス オス>

別販CeNETケーブル	ケーブル長
CCA-519 (CeNET分岐ケーブル)	1m <オスx2 メス>
CCA-520 (CeNET延長ケーブル)	2.5m <オス メス>
CCA-521 (CeNET延長ケーブル)	0.6m <オス メス>

<> 内は、コネクタの形状を表しています。

故障と思われる前に

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう1度次のことをお調べください。

	症 状	原 因	処 置
共通	電源が入らない/音が出ない	ヒューズが切れている	入っていたヒューズと同じ容量のヒューズと交換してください。再度切れる場合は、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		配線が不完全	お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
		アンテナ電源コード、またはリモートオコードが、金属部に接触してショートしている	本機の電源を切り、アンテナ電源コードおよびリモートオコードのショートしている箇所を絶縁テープなどで、ショートしないように保護してください。
		パワーアンプなど、接続時のリモートオコードの電流容量不足	接続するパワーアンプなどについて、お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
	ボタンを押しても動作しない、ディスプレイが正確に表示しない	ノイズなどが原因で、マイコンが誤動作している	リセットボタンを細い棒などで押してください。  リセットボタンを押すとメモリーしたタイトル等が全て消去されます。
ラジオ	雑音が多い	放送局の周波数に合っていない	正しい周波数に合わせてください。
	自動選局で選局できない	強い電波の放送局がない	手動選局で選局してください。
CD	CDがすぐ出してしまう	CDを表裏逆に入れている	CDのレーベル面を上にして入れてください。
	音飛びする ノイズが入る	CDが汚れている	CDをやわらかい布でふいてください。
		CDに大きい傷やソリがある	CDを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴がつくことがある	電源を入れた状態にして、約1時間乾燥させてください。
テープ	音質が悪い	ヘッドが汚れている	ヘッドの汚れをクリーニングテープなどで取り除いてください。
		ドルビーNRが正しくはたらいいていない	ドルビーNRシステムで録音されたカセットテープを聴くときは、ドルビーNRボタンを押してからお聴きください。
	再生の途中で、再生面が自動的に切り換わってしまう	カセットテープが粗雑に巻かれている	早送りや巻戻しをして、カセットテープの巻きを均一にしてください。
	頭出しが正しく動作しない	曲間の空きが約4秒間より少ない	約4秒以上、曲間に空きがあるカセットテープを使用してください。
その他	ディスプレイに「エラー表示」が出る	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている	次ページの「エラー表示」を参照して、内容を確認してください。

エラー表示について

本機は、システム保護のため、各種の自己診断機能を備えています。

障害が発生したときは、各種のエラーが表示されますので、対処方法にしたがって障害を取り除いてください。障害を取り除けば、通常の動作に戻ります。

	エラー表示	原 因	対処方法
CD	ERROR2	CDデッキ内のCDが引っかかって、イジェクトされないときの表示	CDデッキのメカニズムの故障としますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDデッキ内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
テープ	ERROR8	カセットテープが引っかかって、イジェクトされないときの表示	引っかかる要素を取り除いてください。
CDチェンジャー	ERROR2	CDチェンジャー内のCDがローディングできないときの表示	CDチェンジャーのメカニズムの故障としますので、販売店にご相談ください。
	ERROR3	CDチェンジャー内のCDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷やソリのないCDと交換してください。
	ERROR6	CDチェンジャー内のCDを裏返しに入れ、演奏できないときの表示	CDをイジェクトし、正しく入れ直してください。
MDチェンジャー	ERROR2	MDチェンジャーのメカが故障しているときの表示	販売店にご相談ください。
	ERROR3	MDに傷などがあり、演奏できないときの表示	傷のないMDと交換してください。
	ERROR6	ブランクディスク(無録音)を入れたときの表示	録音されたMDと交換してください。
	ERROR H	MDチェンジャーの温度が上がすぎたため、自動的に動作を停止させたときの表示	MDチェンジャーの温度が下がるように、まわりの温度を下げてしばらくお待ちください。

上記以外のエラーが表示されたときは、前ページを参照してリセットボタンを押してください。それでも復帰しない場合は、本体の電源を切り、お買い求めの販売店にご相談ください。

その他

CDプレーヤー部

周波数特性	: 10Hz ~ 20kHz ± 1dB
SN比	: 100dB
ダイナミックレンジ	: 95dB
高調波ひずみ率	: 0.01%

カセットプレーヤー部

周波数特性	: 30Hz ~ 18kHz 30Hz ~ 20kHz (メタルテープ)
SN比 (メタルテープ)	: DOLBY B NR OFF時 58dB DOLBY B NR ON時 67dB
チャンネルセパレーション	: 45dB (1kHz)
ワウ・フラッター	: 0.06% (WRMS)
早送り・巻戻し時間	: 約110秒 (C-60)

FMチューナー部

受信周波数	: 76.0MHz ~ 90.0MHz
実用感度	: 9dBf
SN比	: 70dB
周波数特性	: 30Hz ~ 15kHz ± 3dB
高調波ひずみ率	: 0.4% (1kHz)

AMチューナー部

受信周波数	: 522kHz ~ 1,629kHz
実用感度	: 28dB μ
SN比	: 50dB

DSP/EQ部

DSP	: 5モード
G.EQ	: 4モード

オーディオ部

定格出力	: 17W × 4 (20Hz ~ 20kHz, 1%, 4 Ω)
最大出力	: 45W × 4 (EIAJ)
適合インピーダンス	: 4 (4 ~ 8 Ω)
トーンコントロール	BASS : ± 13dB (30Hz) TREBLE : ± 10dB (10kHz)
ラウドネスコントロール	: + 8dB (100Hz)
(音量ボリューム - 32dB)	: + 6dB (10kHz)
ラインアウト出力レベル (CD 1kHz)	: 1.8V

共通部

電源電圧	: DC14.4V
接地方式	: マイナス接地
消費電流	: 3.0A (1W時)
ヒューズ定格	: 15A (チョークコイル付メイン電源コード)
外形寸法	: 178 (W) × 100 (H) × 175 (D) mm (取付寸法: 155 (D) mm)
質量	: 2.5kg

付属品

• 取扱説明書	1部
• 取付説明書	1部
• 修理相談窓口リスト	1部
• 保証書	1部
• 電源コード	1本
• セムス六角ボルト 	8本
• サラネジ (M5 × 8) 	8本

* これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する場合があります。

保証書

この商品には、保証書が添付されています。お買い求めの際、販売店で所定事項を記入いたしますので、記入および記載事項をご確認のうえ、大切に保管してください。なお、保証書は再発行いたしませんので、ご注意ください。

保証期間

お買い求めの日より1年間です。

万一故障が発生した場合

保証期間中に、正常な使用状態で故障が発生した場合には、保証の記載内容に基づいて、無料で修理いたします。
お買い求めの販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。

保証期間経過後の修理について

修理することにより性能が維持できる場合には、お客様のご要望により、有料で修理いたします。

クラリオン株式会社

本 社 〒112-0001 東京都文京区白山5-35-2
TEL. 0120-112-140 (フリーダイヤル)
お問い合わせは、お客様相談室へ

ご購入年月日	年 月 日
ご購入店名	
	TEL.
製造番号	

お客様へ…… ご購入年月日、ご購入店名などを記入されると、あとでお問い合わせされるときに便利です。